



和同産業株式会社



JQA-QM5922
本社・工場



JQA-EM3683
本社・工場



MS
JAB
CM009

この登録マークは製品またはサービス
そのものを保証するものではありません。

本 社 〒025-0035 岩手県花巻市実相寺410番地
TEL 0198-24-3221 FAX 0198-41-1221
花巻営業所 〒025-0035 岩手県花巻市実相寺410番地
TEL 0198-24-3265 FAX 0198-41-1221
長野営業所 〒381-0034 長野県長野市高田1773番地3
TEL 026-267-0350 FAX 026-221-6130
岩見沢営業所 〒068-0852 北海道岩見沢市大和2条3丁目9番地
TEL 0126-22-6221 FAX 0126-32-2162
岡山出張所 〒710-0837 岡山県倉敷市沖新町5番地8号
TEL 086-426-0050 FAX 086-426-0100

URL / <http://wadosng.jp/>

お客様メモ

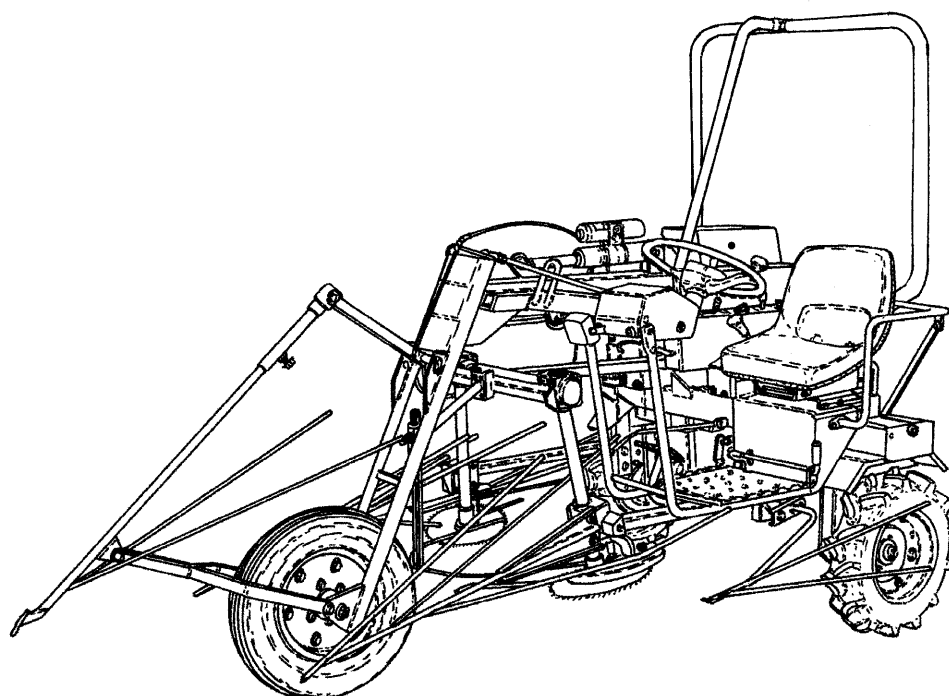
購入日	平成	年	月	日
購入店名				

取扱説明書

WADO

乗用ビーンカッター

WK-21



当製品を安全に、また正しくお使いいただくために必ず本
取扱説明書をお読みください。誤った使いかたをすると、
事故を引き起こすおそれがあります。

お読みになった後も必ず製品に近接して保存してください。

ワドー乗用ビーンカッターを お買い上げいただき、ありがとうございます。

はじめに

●この取扱説明書は、ワドー乗用ビーンカッターの取扱方法と使用上の注意事項について記載してあります。ご使用前には必ず、この取扱説明書を熟知するまでお読みのうえ、正しくお取扱いいただき、最良の状態でご使用下さい。


●お読みになった後も、必ず製品に近接して保存して下さい。


●製品を貸与または譲渡される場合は、この取扱説明書を製品に添付してお渡し下さい。


●この取扱説明書を紛失または損傷された場合は、速やかにお買い上げいただいた販売店または、お近くの当社営業所にご注文下さい。


●なお、品質・性能・取扱性向上のため、使用部品の変更を行うことがあります。その際には、本書の内容およびイラストなどの一部が、本製品と一致しない場合がありますので、ご了承下さい。

●ご不明なことやお気付きのことがございましたら、お買い上げいただいた販売店、またはお近くの当社営業所にご相談下さい。

● 印付きの下記マークは、安全上、特に重要な項目ですので、必ずお守りください。

 **危険** その警告文に従わなかった場合、死亡または重傷を負うことになるものを示します。

 **警告** その警告文に従わなかった場合、死亡または重傷を負う危険性があるものを示します。

 **注意** その警告文に従わなかった場合、ケガを負うおそれのあるものを示します。

その他の表示として

重要 指示に従わないと、本機やその他の物が損傷する可能性があるものを示します。

もくじ

安全に作業するために -----	1
・ 一般的な注意項目 -----	1
・ 作業前後の確認時の注意項目 -----	3
・ 輸送時の注意項目 -----	8
・ 移動 ・ 作業時の注意項目 -----	9
・ 作業終了後 ・ 格納時の注意項目 -----	15
サービスと保証について -----	17
本製品の使用目的について -----	17
1 . 警告ラベルの貼付位置 -----	18
2 . 各部のなまえ -----	20
3 . 操作レバー関係の取扱い要領 -----	22
4 . 運転前の準備 ・ 点検 -----	28
5 . エンジンの始動 ・ 停止のしかた -----	35
6 . 作業 ・ 操作のしかた -----	38
7 . 定期点検 -----	44
8 . 長期間使用しないときの手入れ -----	52
9 . 故障のときは -----	53
10 . 標準付属品および主要消耗部品 -----	54
11 . 主要諸元 -----	55
12 . 配線図 -----	56

安全に作業するために

ここに記載されている注意事項を守らないと、死亡を含む傷害や事故、機械の破損が生じるおそれがあります。

●一般的な注意項目



注意

「取扱説明書」をよく読んで

本機を使用する前に、必ず「取扱説明書」をよく読んで、十分理解してから使用してください。取扱説明書に記載されている注意事項を守らないと、死亡を含む傷害や事故、機械の破損等が生じるおそれがあります。



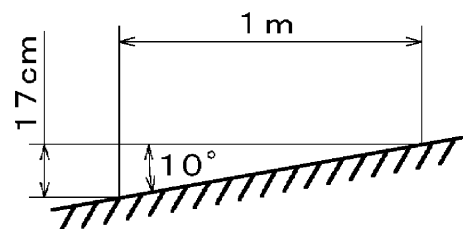
危険

傾斜10° を越える斜面では本機を使用しない

豆刈り作業は平坦な場所で行い、傾斜10° を超える斜面では本機を使用しないで下さい。

【守らないと】

転倒するおそれがあります。



警告

こんなときは運転しない

- 過労・病気・薬物の影響、その他の理由により作業に集中できないとき
- 酒を飲んだとき
- 妊娠しているとき
- 18歳未満の人



警告

すべりにくい靴・手袋などの作業に適した服装を心掛けてください

はち巻き、首巻き、えり巻き、腰タオルは禁止です。

ヘルメット、すべり止めの付いた長靴、手袋を着用し作業しやすいだぶつきのない服装をしてください。

【守らないと】

機械に巻き込まれたり、すべって転倒し、ケガをするおそれがあります。



警告

豆刈り以外の作業は絶対禁止

本機は豆刈機です。豆刈り目的以外の使用は絶対しないでください。
(品種－小豆・大豆・金時・手忙など)

【守らないと】

機械の故障、事故、ケガをまねくおそれがあります。



警告

機械を他の人に貸すときは

取扱い方法をよく説明し、使用前に「取扱説明書」を必ず読むように指導してください。

【守らないと】

説明不足により死亡事故や重大な傷害、機械の破損をまねくおそれがあります。



警告

機械の改造や指定以外のアタッチメントの装着禁止

改造をしないでください。

【守らないと】

機械の故障、事故、ケガをまねくおそれがあります。



警告

機械の中に手を入れない

カバーの中には回転部や可動部があり、むやみに手などを入れると大変危険です。やむをえないときは必ずエンジンを停止してから行ってください。

【守らないと】

回転物などに巻き込まれ、傷害事故をまねくおそれがあります。

●作業前後の確認時の注意項目



危険

注油・給油・点検はエンジンが冷めてから行う

エンジンの回転中や、エンジンが熱い間は、絶対に注油・給油・点検をしないでください。

【守らないと】

燃料などに引火し、火災の原因となることがあります。



危険

燃料補給時火気厳禁

燃料補給時は、くわえ煙草や裸火照明など火気厳禁です。

【守らないと】

燃料に引火し、火災をおこすおそれがあります。



危険

バッテリー点検時は火気厳禁

バッテリーの点検時、液槽キャップを開けたときは火気厳禁です。

【守らないと】

火災事故を引きおこすおそれがあります。



危険

機械の下にもぐったり、足を入れない

機械の下にもぐったり、足を踏み込んだりしないでください。

【守らないと】

何かの原因で機械が動いたときに、傷害事故をおこすおそれがあります。



危険

排気ガスには十分に注意

しめきった屋内などではエンジンを始動しないでください。エンジンは風通しのよい屋外で始動してください。やむをえず屋内で始動する場合は、十分に換気してください。

【守らないと】

排気ガスによる中毒を起こし、死亡事故にいたるおそれがあります。



警告

燃料もれに注意する

燃料パイプが破損していると、燃料もれをおこしますので必ず点検してください。

【守らないと】

火災事故を引き起こすことがあります。



警告

燃料タンクキャップをしめ、こぼれた燃料は拭き取る

燃料を補給したときは、燃料タンクキャップを確実にしめ、こぼれた燃料はきれいに拭き取ってください。

【守らないと】

火災事故を引き起こす原因になります。



警告

バッテリー液は体につけないように

バッテリー液を身体や衣服につけないようにしてください。万一付着したときは、すぐに水で洗い流してください。

【守らないと】

服が破れたり、火傷します。



警告

バッテリーの取り付け取り外しは正しい手順で

バッテリーを取り付けるときはプラス側をさきに取り付け、取り外すときは、マイナス側から取り外します。

【守らないと】

ショートして、火傷や火災事故の原因となります。



警告

バッテリー端子の接続は正しく確実に

バッテリー端子のプラス側とマイナス側を接触させたり、プラス側を本機に接触させないで下さい。

【守らないと】

ショートして、火傷や火災事故の原因となります。



警告

必ず指定のバッテリーを使用

バッテリーを交換するときは、必ず取扱説明書で指定された容量のバッテリーを使用してください。
(P. 51参照)

【守らないと】

火災の原因となることがあります。



警告

電気部品・コードは必ず点検

配線コードが他の部品に接触していないか、被覆のはがれや接触部のゆるみがないかを毎作業前に点検してください。

【守らないと】

ショートして、火傷や火災事故の原因となります。



警告

刈取りする地域の異物はあらかじめ取り除く

あらかじめ刈取りする地域の木片・ビニール・ビン・カン・ホース・ナワ・布切れ・およびその他の異物をすべて取り除いてください。

【守らないと】

刈取り作業中に取り込んだ異物などが飛び出し、思わぬ傷害事故をまねくおそれがあります。



警告

マフラー・エンジンのゴミは取り除く

マフラーやエンジン周辺部にゴミや燃料など付着していないか作業前に点検し、付着していれば取り除いてください。

【守らないと】

火災事故やオーバーヒートを引き起こすおそれがあります。



警告

点検整備は平坦で安定した場所で行う

交通の危険がなく、機械が倒れたり動いたりしない平坦で安定した場所で点検整備をしてください。

【守らないと】

機械が転倒するなど、思わぬ事故をまねくおそれがあります。



警告

作業前には必ず「エンジン停止装置」を確認する

(P. 27参照)

作業前にエンジン停止装置が、適切に作動することを確認してください。

【守らないと】

エンジン停止装置が作動せず、死亡事故や重大な事故をまねくおそれがあります。



警告

作業前には必ず刈刃の締付け状態を確認する

作業前に刈刃の締付け状態を確認してください。また、締付けナットが摩耗していましたら、交換してください。

【守らないと】

刈刃が外れて飛び出し、死亡事故や重大な事故をまねくおそれがあります。



注意

作業前・後は必ず機械の点検をする

使用の前と後には必ず機械の点検をしてください。特に操縦装置は、確実に作動することを確認してください。作動不良の場合は確実に作動するように調整してください。

【守らないと】

整備不良による事故や機械の故障を生じるおそれがあります。



注意

カバーやラベル類は必ず取り付ける

点検・整備などで取り外したカバー類は、必ず取り付け、ラベル類が損傷した場合は直ちに貼り替えてください。

【守らないと】

機械に巻き込まれたりして、傷害事故を引き起こすおそれがあります。



注意

点検・整備は過熱部分が十分冷めてから

エンジン・マフラ・ミッションなどの過熱部分が十分冷めてから点検・整備をして下さい。

【守らないと】

火傷をするおそれがあります。



注意

機械の点検・清掃・注油をするときはエンジンを停止する

【守らないと】

思わぬ傷害事故の原因となります。

●輸送時の注意項目



警告

トラックには必ず車止めを

積み込むトラックのエンジンを止め、変速は「P」または「1」・「R」位置に入れ、駐車ブレーキをかけて車止めをしてください。

【守らないと】

トラックが動いて転落事故などをまねくおそれがあります。



警告

トラックへの積み込み・積み降ろしにはクレーンを使用する

トラックへの積み込み・積み降ろしにはクレーンを使用し、自走での積み込み・積み降ろしはしないで下さい。

【守らないと】

機械が転落して、傷害事故をおこすことがあります。



警告

ロープでトラックに確実に固定する

トラックにのせて移動するときは、強度の十分あるロープでトラックに機械を固定してください。

【守らないと】

荷台から機械が転落して、事故をまねくおそれがあります。



注意

積み込み・積み降ろし作業は、エンジンスイッチを必ず「切」位置にして行う

トラックへの積み込み・積み降ろしのときは、エンジンスイッチを必ず「切」位置にして行ってください。

【守らないと】

傷害事故をまねくおそれがあります。

●移動・作業時の注意項目



危険

詰まった草や異物を取り除くときは必ずエンジン停止

刈取部に草や異物が詰まった場合には、必ずエンジンを停止し、各動作部が完全に止まっていることを確認してから、取り除いてください。

【守らないと】

衣服が巻き込まれたり、傷害事故や機械の破損をまねくおそれがあります。



警告

デバイダーカバーを取り付ける

作業時以外は、デバイダーカバーを取り付けてください。

【守らないと】

デバイダー先端で思わぬ事故を引き起こすおそれがあります。



警告

エンジン始動時は、運転席に座り、ブレーキペダルを踏み、刈取クラッチレバーを「切」位置にする

【守らないと】

機械が急発進したり刈取部が動き出し、傷害事故をまねくおそれがあります。



警告

機械のまわりに人や動物を近づけない

特に子供には十分注意し、近づけないようにしてください。また後退するときは後方の安全を確認してください。

【守らないと】

思わぬ傷害事故の原因になります。



警告

坂道は走行注意

急な坂道は走行しないでください。やむをえず坂道を走行する場合は、転倒やスリップに気を付けて、最低速度でゆっくり移動してください。

【守らないと】

機械の横転、暴走などの思わぬ事故を引き起こす原因となります。



警告

坂道では駐車禁止

坂道では駐車しないでください。やむをえず坂道で駐車する場合は、かならず車止めをして、駐車ブレーキを確実にかけてください。

【守らないと】

機械が動き出し、事故の原因となります。



警告

凍結路は十分注意し低速で

凍結した滑りやすい路面ではなるべく作業しないでください。やむを得ない場合は、十分注意し低速で行ってください。

【守らないと】

転倒事故などの原因になります。



警告

わき見運転や手放し運転禁止

【守らないと】

傷害事故の原因となります。



警告

機械から離れるときは平坦地に置きエンジンを止め、駐車ブレーキをかけて、エンジンスイッチキーを抜く。

機械から離れるときは、平坦で安定した場所に置き、エンジンを止め、駐車ブレーキをかけて、エンジンスイッチキーを抜いてください。

【守らないと】

機械が動きだし、事故の原因となります。



警告

夜間や、視界の悪いときには作業をしない

【守らないと】

視界不良により事故などの原因となります。



警告

刈刃が回転中は危険、近づき禁止

刈刃が回転中は刈取部付近に近づかないでください。周囲の安全を確かめてから刈取クラッチレバーを操作してください。

【守らないと】

刈刃に巻き込まれて傷害事故の原因となります。



警告

急な発進・停止・旋回やスピードの出しすぎ禁止

発進・停止はゆっくり行ってください。旋回するときは十分速度を落としてください。また、坂道や凸凹道やカーブの多い場所では十分速度を落としてください。

【守らないと】

機械の破損、事故の原因となることがあります。



警告

機械の異常に気付いたらすぐにエンジン停止

異物が当たったり、巻き付いたり、異常振動、異音、異臭などに気付いたら、すみやかにエンジンを停止し、高温部が冷めてから点検してください。

【守らないと】

機械の故障、事故、ケガをまねくおそれがあります。



警告

回転部に手・足・顔を近づけない

回転している部分をのぞき込んだり、手・足・顔を絶対に近づけないでください。

【守らないと】

巻き込まれたり、飛散物などにより思わぬ事故を引き起こすおそれがあります。



警告

燃えているものの上やその近くは走行禁止

【守らないと】

燃料やオイルなどに引火して、火災になるおそれがあります。



注意

公道走行禁止

本機は小型特殊自動車型式認定の対象外のため、型式認定を受けることができません。したがって法令により公道を自走することができません。トラック等に載せて移動してください。

【守らないと】

交通事故をまねくおそれがあります。



注意

移動時は路肩に注意

溝のある場所や傾斜している場所では、路肩に十分に注意してください。

【守らないと】

転落事故を引き起こすおそれがあります。



注意

周囲の安全を確かめ低速で発進する

急発進や急旋回をしないで周囲の安全を確認してゆっくりと発進してください。

【守らないと】

思わぬ事故をまねくおそれがあります。



注意

移動時には刈取クラッチレバーを必ず「切」位置にする

【守らないと】

思わぬ傷害事故をまねくおそれがあります。



注意

刈刃への巻き込まれに注意

刈取作業時以外は、刈取クラッチレバーを「入」位置にしないでください。刈刃が回転し危険です。

【守らないと】

巻き込まれて傷害事故の原因になることがあります。

●作業終了後・格納時の注意項目



シートなどは機械が十分冷めてからかける

【守らないと】

火災事故を引き起こすことがあります。



格納時はデバイダーカバーを取り付ける

デバイダーカバーを取り付け、刈取部を下げて格納してください。

【守らないと】

デバイダー先端で思わぬ事故を引き起こすおそれがあります。



長期格納時は燃料を抜く

長期間使用しないで格納する場合は、燃料タンク・気化器内の燃料を抜いてください。

【守らないと】

燃料が変質してエンジンの不具合を起こしたり、故障の原因となることがあります。



機械の清掃・点検をするときはエンジンを停止する

【守らないと】

機械に巻き込まれてケガをするおそれがあります。



定期点検整備を受けてください

1年毎に定期点検整備を受け、各部の保守をしてください。特に、燃料パイプは2年毎に交換してください。また、電気配線は毎年点検し、異常個所があれば必ず交換してください。

【守らないと】

整備不良による事故や、機械の故障を生じるおそれがあります。

サービスと保証について

保証について

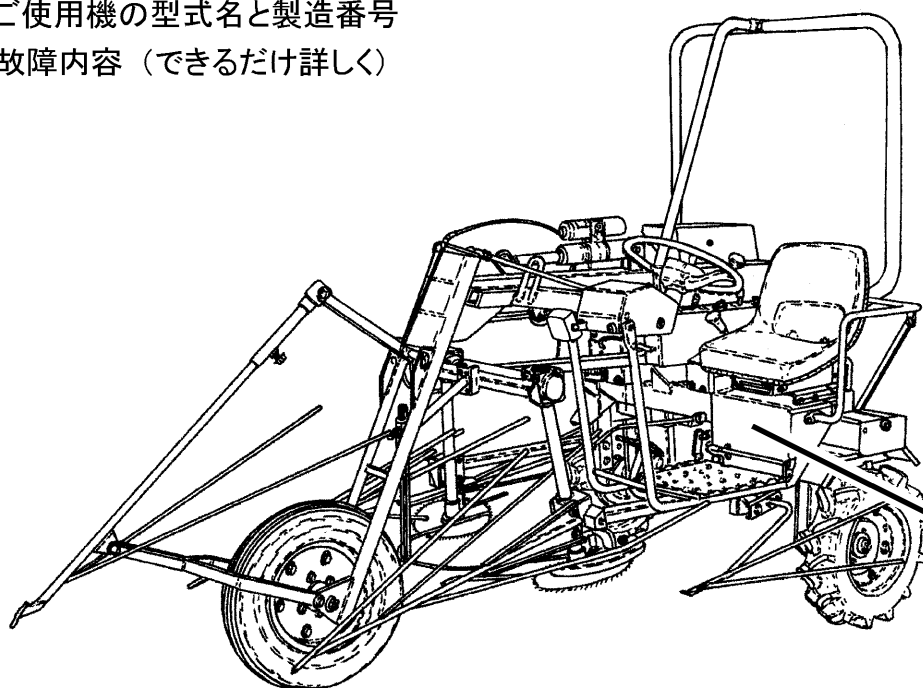
「保証書」はお客様が保証修理を受けられる際に必要となるものです。お読みになった後は大切に保管してください。

アフターサービスについて

機械の調子が悪いときは、お買い上げいただいた販売店、またはお近くの当社営業所までご連絡ください。

その際には、以下の内容をご連絡ください。

- ・ご使用機の型式名と製造番号
- ・故障内容（できるだけ詳しく）



型式名
製造番号

補修部品の供給年限について

この製品の補修用部品の供給年限（期間）は製造打ち切り後9年です。ただし、供給年限内であっても、特殊部品については納期などをご相談させていただく場合もあります。補修用部品の供給は、原則的には上記の供給年限で終了しますが、供給年限経過後であっても、部品供給のご要請があった場合には、納期および価格についてご相談させていただきます。

本製品の使用目的について

本製品は豆刈り作業にご使用ください。

使用目的外の作業や改造などは決して行わないでください。

使用目的外の作業や改造をした場合は、保証の対象になりません。

（詳細は保証書をご覧ください。）

1. 警告ラベルの貼付位置

警告ラベルは、使用者および周囲の作業員などへの危険を知らせる大事な物です。

・ラベルが損傷した場合はできるだけ早く貼り替えてください。

なお、注文の際には、この図に示す部品番号をお知らせください。

・高圧洗浄機で洗うと、高圧水によりラベルが剥がれるおそれがあります。

高圧水を直接ラベルにかけないでください。

注意		●カバー類は常に装着してください。 ●はずしたまま運転するとケガをするおそれがあります。
-----------	--	---

91195-003
カバー注意ラベル

警告		●移動時・格納時はデバイダカバーを必ずつけてください。●はずしたまま運転するとケガをするおそれがあります。
-----------	--	---

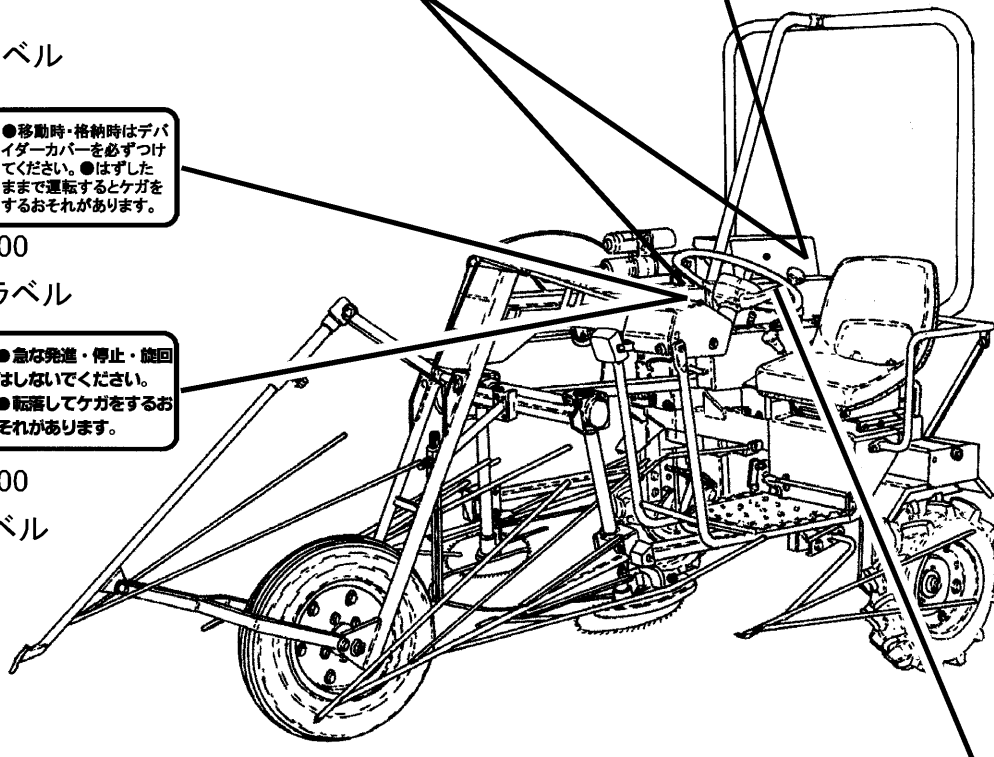
79922-G 23-000
デバイダ警告ラベル

警告		●急な発進・停止・旋回はしないでください。 ●転落してケガをするおそれがあります。
-----------	--	--

79923-G 23-000
急操作警告ラベル

注意		マフラー高温注意 さわるとやけどをするおそれがあります。
-----------	--	---------------------------------

91195-001
マフラー注意ラベル



危険		●作業時はかならず周囲に人がいないことを確認してください。 ●飛散物により人がケガをするおそれがあります。
-----------	--	--

91193-009
飛散物危険ラベル

警告		排気ガスに注意 室内および換気の悪い場所での運転は、排気ガスが充満し、人体に有害です。
-----------	--	--

91194-008
排気ガス警告ラベル

注意		使用前に取扱説明書をよく読んで安全で正しい作業をしてください。
始動	●エンジン始動時や刈取装置関係操作レバーを操作するときにはかならず周囲に人がいないことを確認してください。	
運転	●刈取装置の上には乗らないでください。 ●緊急時の機体停止方法を熟知してください。 ●石の多い場所での作業は行わないでください。	
整備	●機械の修理・点検・清掃を行なうときはエンジンを停止して、機械の動きが完全に止まってから行なってください。 ●回転部・伝動部は常にきれいな状態に保ってください。 ●安全カバー類はかならず所定の位置に装着してください。	

91195-008
取扱説明書注意ラベル

注意	●トラック等への積み込み、積み降ろしの際にはクレーン等で吊り上げてください。 ●アユミ等での積み込み、積み降ろしは、本機がバランスをくずし、転落するおそれがあります。	
-----------	--	--

79921-G 23-000
積込注意ラベル

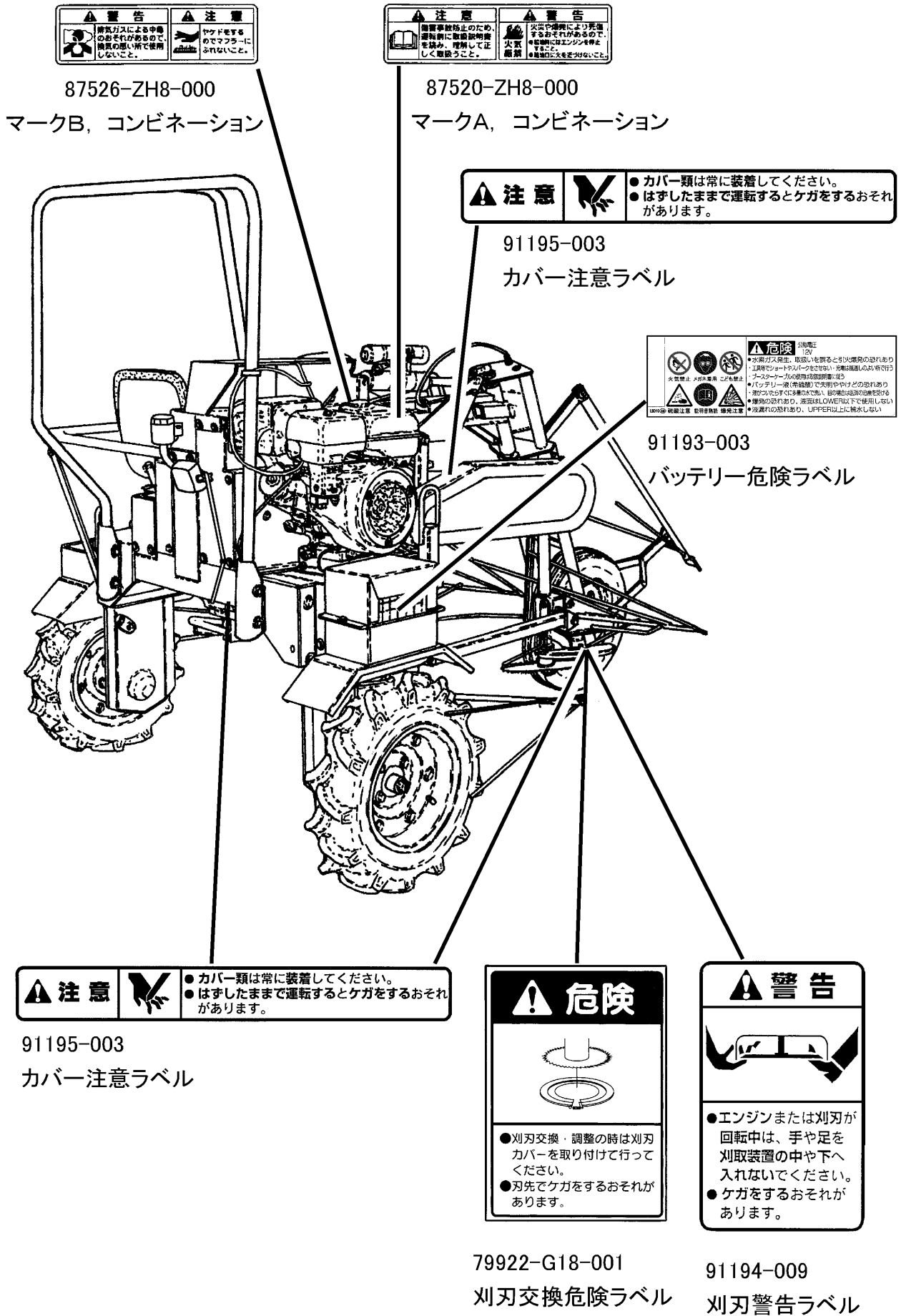
注意		点検時 エンジン 停止 ●点検整備をするときは、エンジンを停止してください。●ケガをするおそれがあります。
-----------	--	--

91195-002
点検時注意ラベル

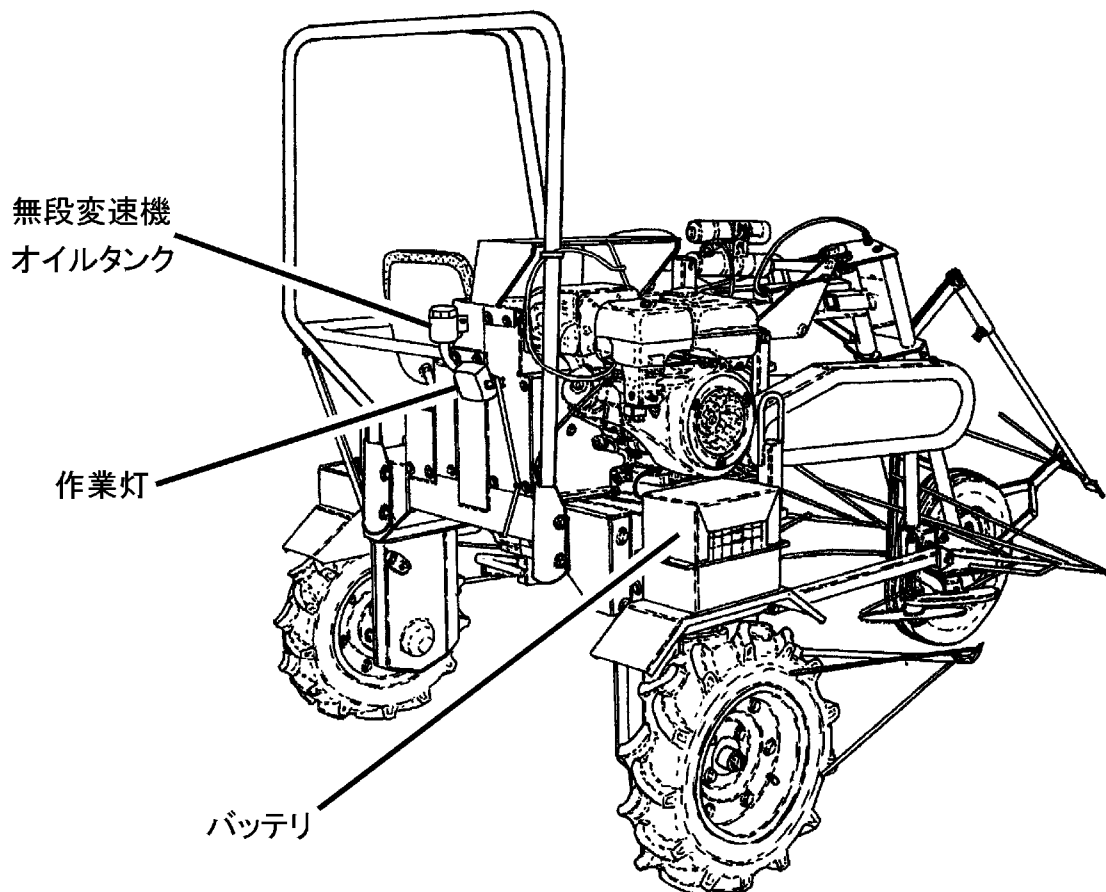
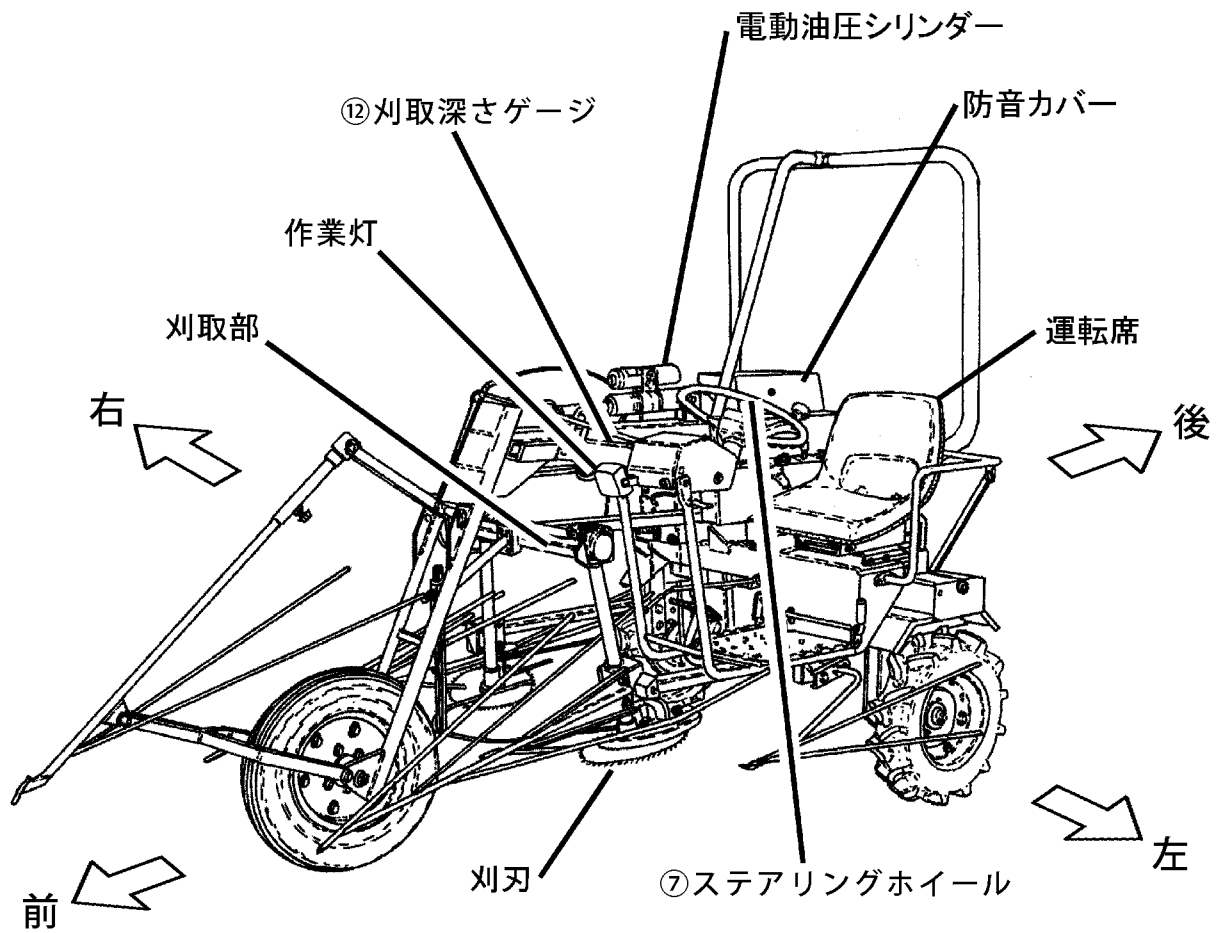
注意		●カバー類は常に装着してください。 ●はずしたまま運転するとケガをするおそれがあります。
-----------	--	---

91195-003
カバー注意ラベル

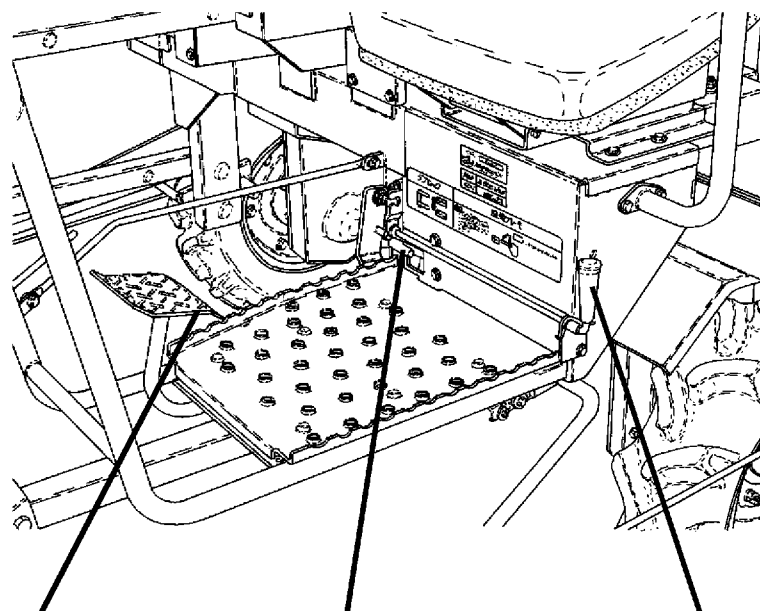
1. 警告ラベルの貼付位置



2. 各部のなまえ



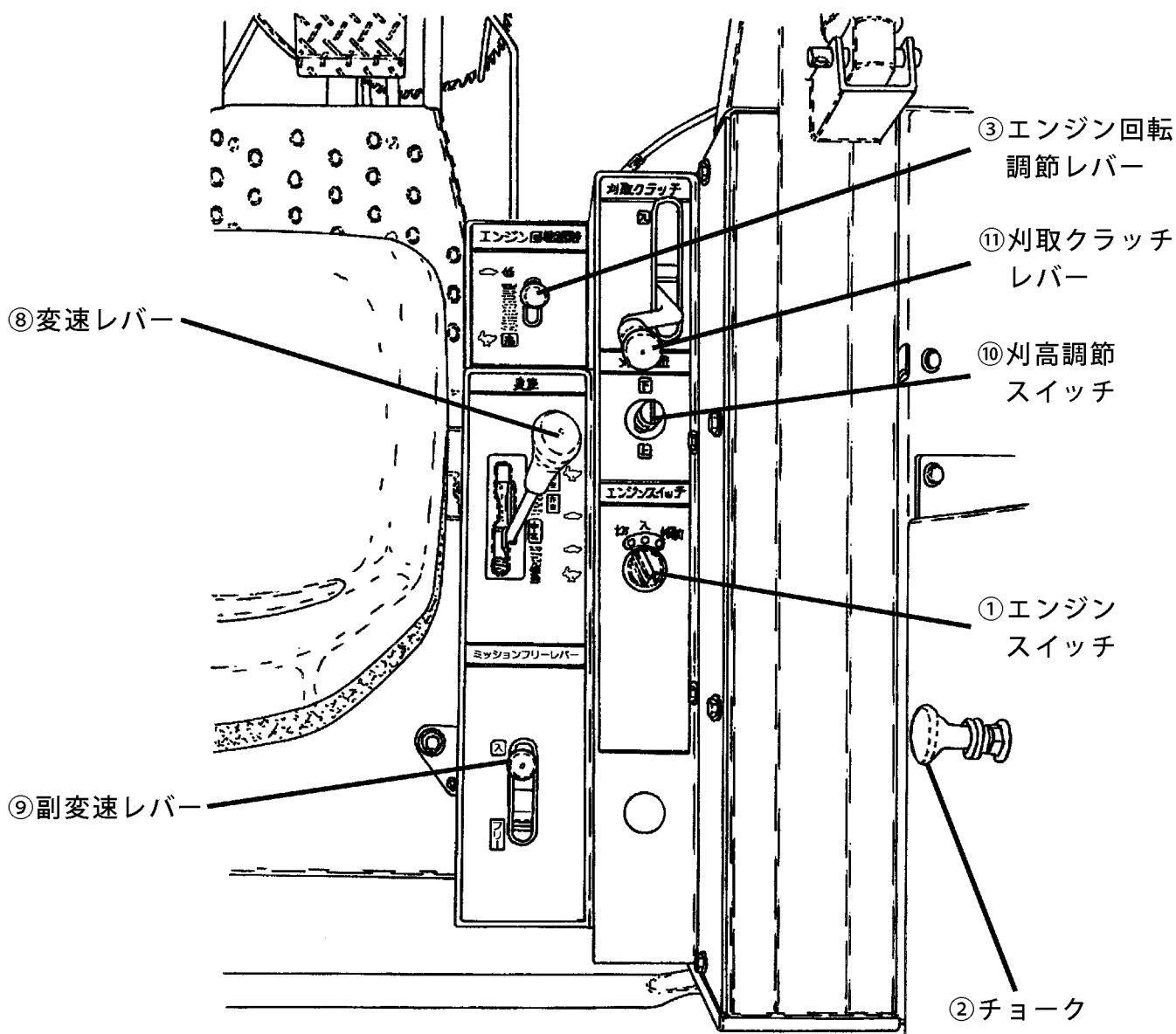
2. 各部のなまえ



④ブレーキペダル

⑥デフロックペダル

⑤駐車ブレーキレバー



⑧変速レバー

⑨副変速レバー

③エンジン回転
調節レバー

⑪刈取クラッチ
レバー

⑩刈高調節
スイッチ

①エンジン
スイッチ

②チョーク

3. 操作レバー関係の取扱い要領

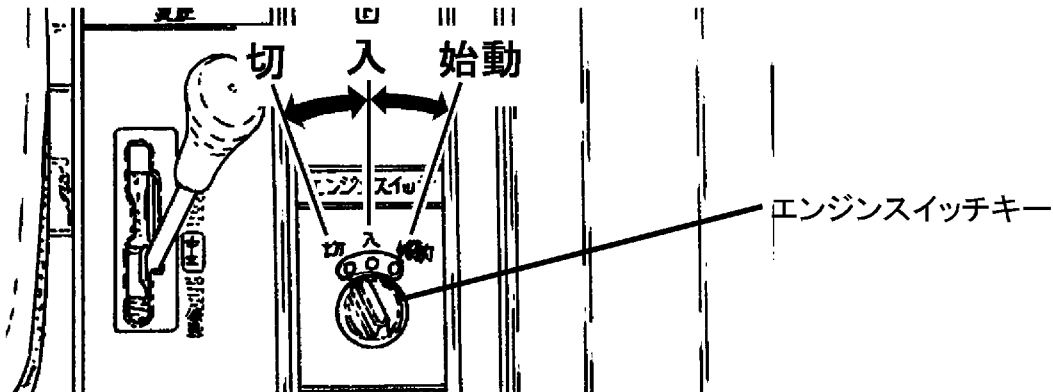
① エンジンスイッチ

エンジンを運転、停止させるときに操作します。

「切」 ---- エンジンを停止する位置です。(キーの抜き取り、差し込みができます。)

「入」 ---- エンジン運転中の位置です。各電気系に電気が流れます。

「始動」 -- エンジンを始動させるとき、この位置まで回します。エンジンが始動したら手をキーからはなしてください。エンジンスイッチキーは自動的に「入」の位置に戻ります。



⚠ 警告

エンジン始動時は、安全のため運転席に座って下さい。刈取クラッチレバーを「切」位置にし、ブレーキペダルを踏み込まないとエンジンは始動しません。

⚠ 注意

本機から離れる場合はエンジンスイッチを「切」位置にして下さい。「入」位置のままですとバッテリーがあがってしまいます。

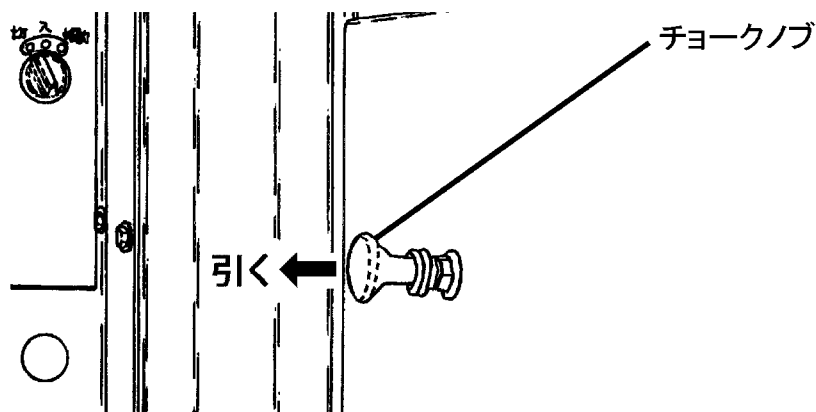
② チョーク

エンジンが冷えているときに操作します。

チョークノブを上にも引くとエンジンが始動しやすくなります。

エンジン始動後は元の位置へ押し戻します。

ねじまわしたり、引きすぎないでください。

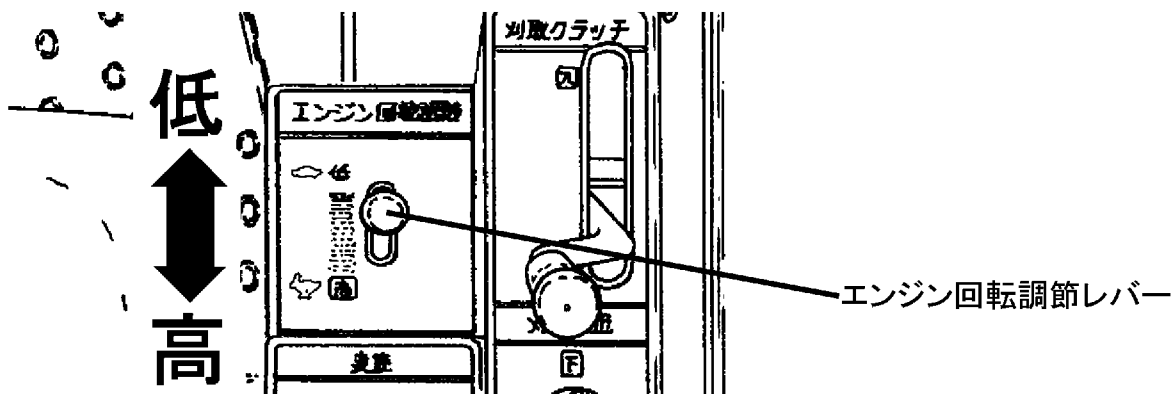


3. 操作レバー関係の取扱い要領

③ エンジン回転調節レバー

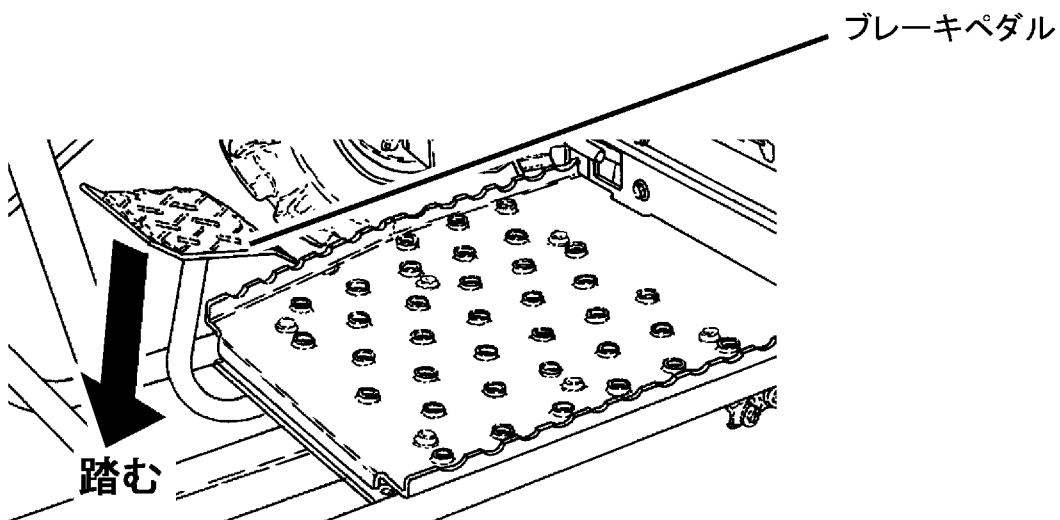
エンジン回転を調節するときに操作します。

エンジン回転調節レバーを「高」側にすると回転は上がり、「低」側にすると回転は下がります。作業時は「高」の位置でご使用ください。



④ ブレーキペダル

減速・停止をする場合に使用します。ブレーキペダルを踏むと、変速レバーが中立位置に戻り、後輪にブレーキをかけます。また、ブレーキペダルを踏んでいると変速レバーは操作できません。



⑤ 駐車ブレーキレバー

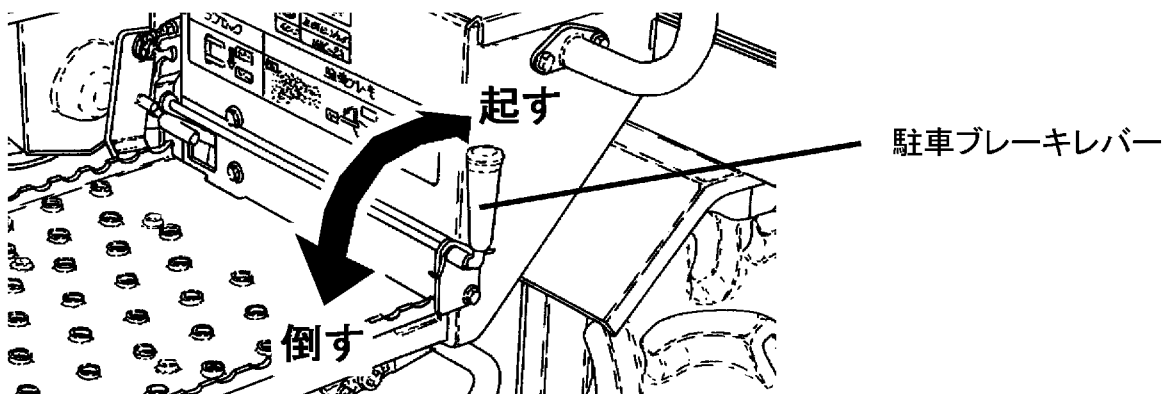
本機を駐車するときに操作します。

[駐車ブレーキのかけかた]

1. ブレーキペダルを踏み込みながら、駐車ブレーキレバーを前へ倒します。
2. ブレーキペダルから足を離します。

[駐車ブレーキの解除のしかた]

1. ブレーキペダルを踏み込みながら、駐車ブレーキレバーを後へ起します。



⚠ 警告

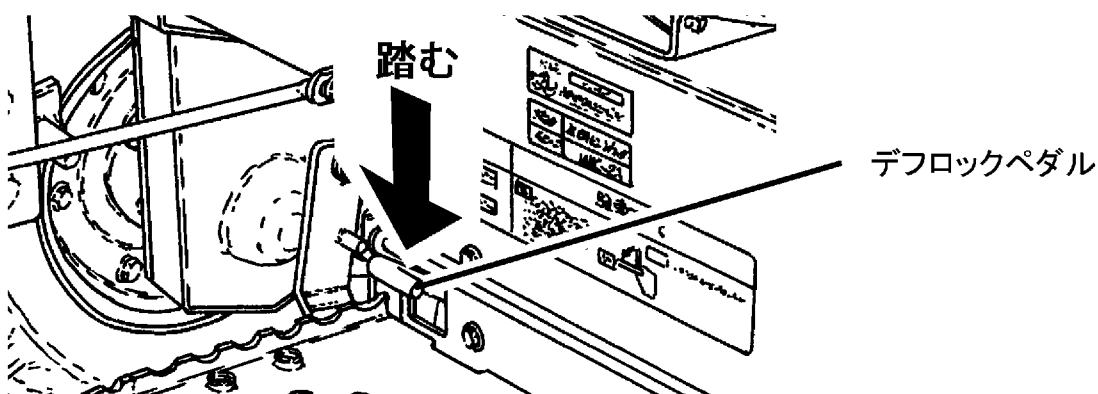
急な坂道では駐車させないでください。やむをえず坂道で駐車する場合は、かならず車止めをして、駐車ブレーキを確実にかけてください。

【守らないと】

機械が動き出し、事故の原因となります。

⑥ デフロックペダル

直進時、後輪の片輪が空転する場合に使用します。踏み込んでいる間デフロックします。離すと解除されます。



⚠ 注意

旋回時は使用しないで下さい。

【守らないと】

旋回ができないほか、本機の故障の原因となります。

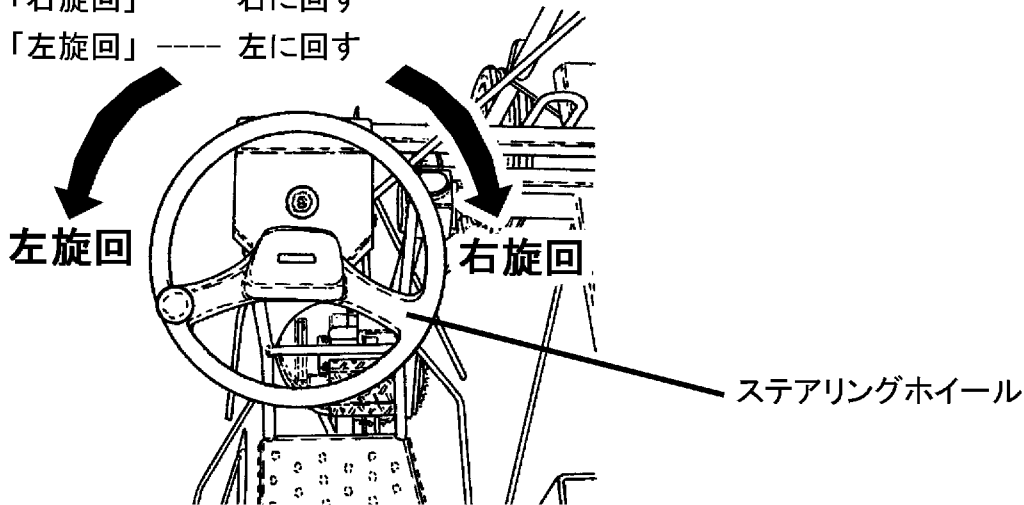
3. 操作レバー関係の取扱い要領

⑦ステアリングホイール

進路を変える場合に操作します。

「右旋回」 ---- 右に回す

「左旋回」 ---- 左に回す



⚠ 注意

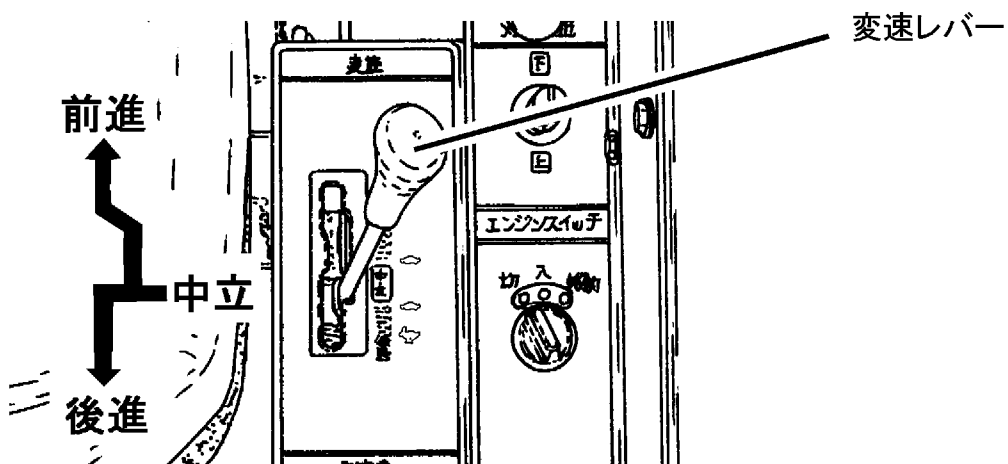
- ・ステアリングホイールの急激な操作はしないでください。
- ・傾斜地では操作しないでください。
- ・旋回時は、刈取部を「移動」位置まで上げてください。下げた状態で旋回すると本機を破損するおそれがあります。

⑧変速レバー

前進・後進の切り替えと速度調節する場合に使用します。

「前進」 ----- 前側へ倒す

「後進」 ----- 後側へ倒す



⚠ 注意

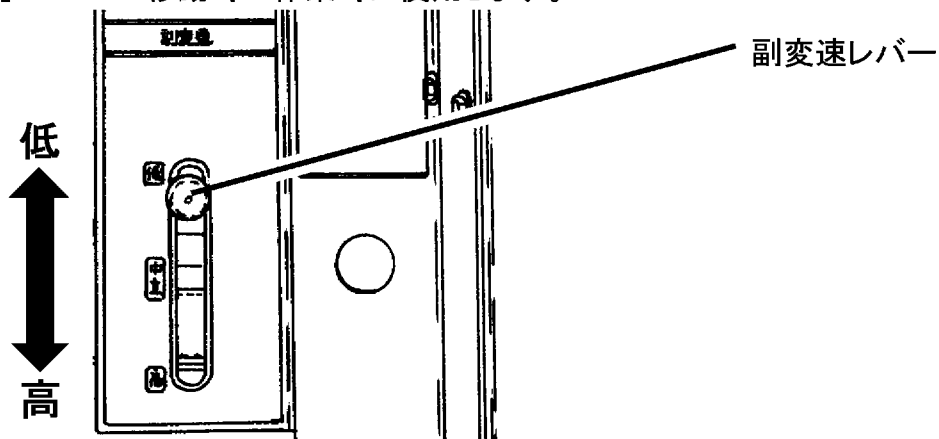
変速レバーの急激な操作はしないでください。

⑨ 副変速レバー

変速レバーでの最高速を変える場合に操作します。

「低速」 ----- 軟弱地等で移動・作業する場合に使用します。

「高速」 ----- 移動時・作業時に使用します。



⚠ 警告

傾斜地では操作しないでください。暴走するおそれがあります。

⚠ 注意

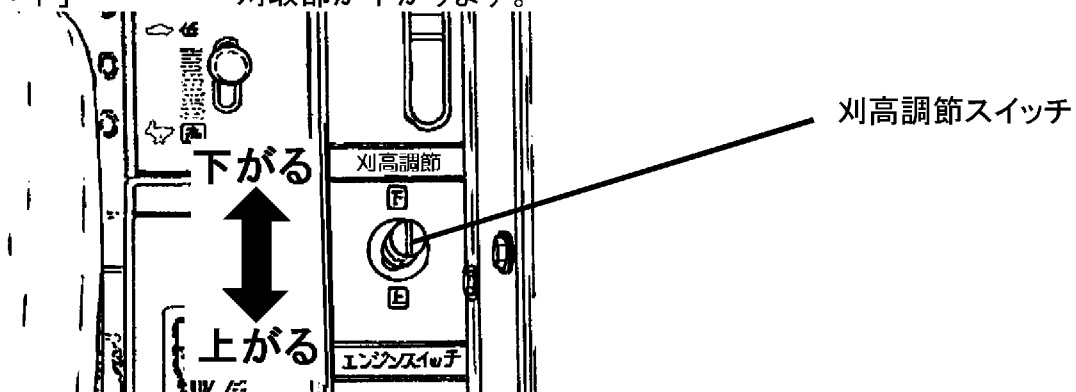
副変速レバーを操作する場合は、ブレーキペダルを踏み、本機を停止させてから行ってください。

⑩ 刈高調節スイッチ

刈高さを調節する場合に操作します。

「上」 ----- 刈取部が上がります。

「下」 ----- 刈取部下がります。



重要

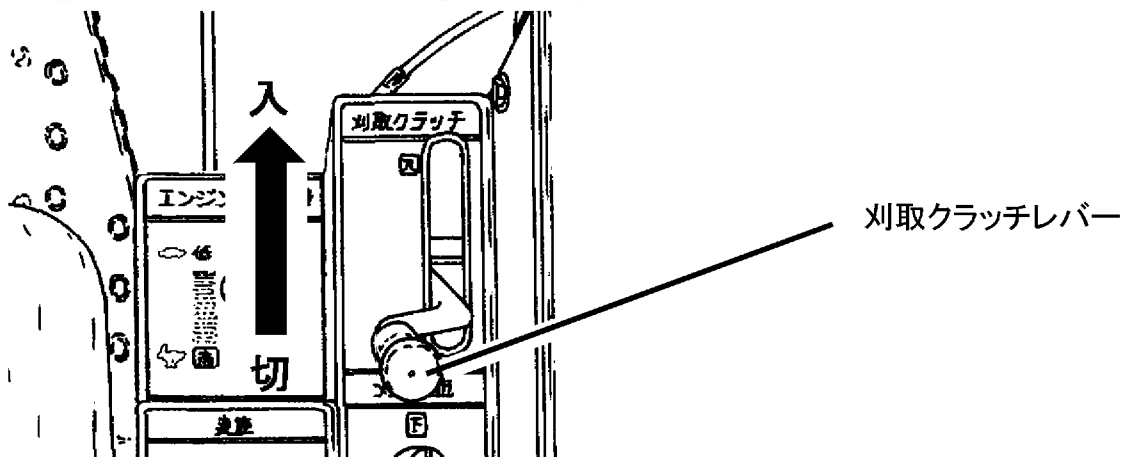
頻繁に操作すると、電動油圧シリンダ内部が過熱し、保護装置が作動して操作不能になる場合があります。その場合は温度が下がるまでお待ちください。

⑪ 刈取クラッチレバー

刈刃を回転させる場合に使用します。作業をしないときは「切」位置にしてください。

「入」----- 刈刃へ動力が伝わります。

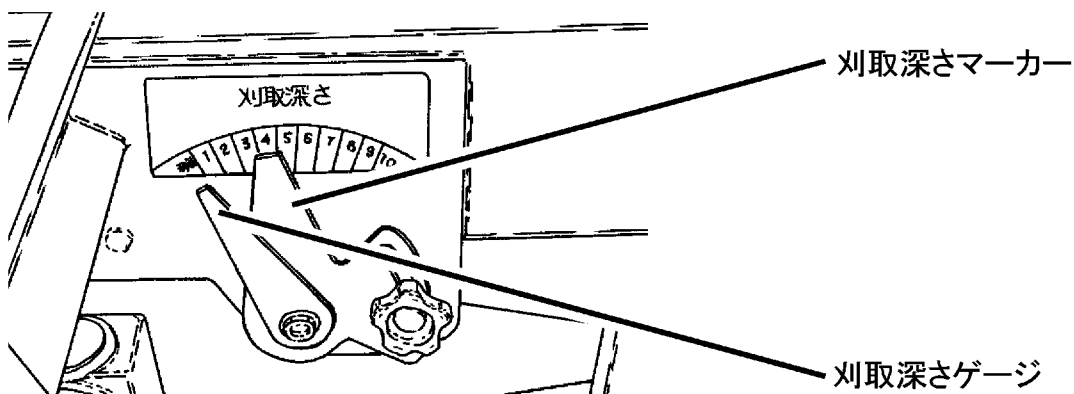
「切」----- 刈刃への動力を断ちます。



⑫ 刈取深さゲージ・マーカー

刈取深さの目安です。

よく使う刈取深さのところへマーカーを合わせると別の畝に入るときに便利です。



⑬ エンジン停止装置

本機には、運転席・ブレーキペダル・刈取クラッチレバーにスイッチがあり下記の作動をします。

1、始動をけん制する場合

- ・ブレーキペダルを踏んでいない ----- エンジンが始動しません。
- ・刈取クラッチレバーが「入」位置にある ----- エンジンが始動しません。

2、エンジンを停止する場合

- ・エンジン作動中に刈取クラッチレバーが「入」位置で運転席を離れた場合 ----- エンジンが停止します。
- ・運転席に座らず刈取クラッチレバーを「入」位置にした場合 ----- エンジンが停止します。

4. 運転前の準備・点検

快適で安全な作業をするためには、機械の状態をいつも最良にしておくことが大切です。運転前には、機械の始業点検を行ってください。

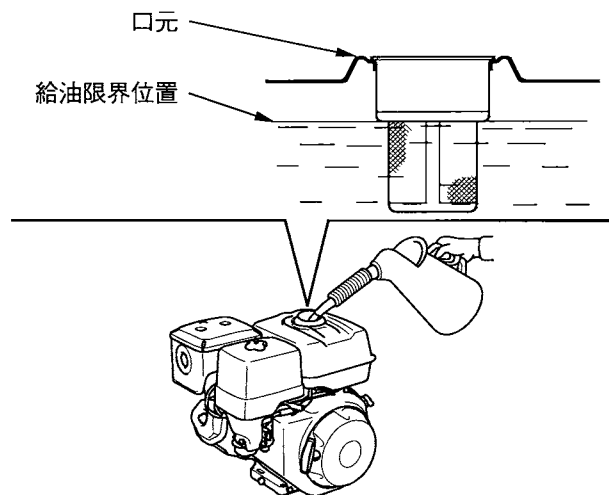
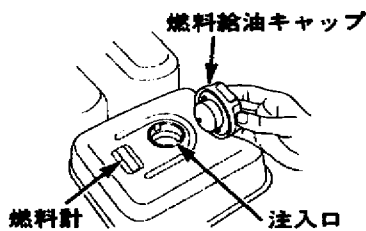
⚠ 警告

1. 点検・整備を行うときは、必ず平坦なところでエンジンを停止させ、駐車ブレーキをかけてから行ってください。
2. 燃料補給時は火気厳禁です。燃料補給後は燃料タンクキャップを確実に締め、燃料タンクや燃料パイプ等からの燃料もれがないか点検してください。守らないと火災事故の原因になります。
3. 燃料は給油口の口元まで入れず、所定の給油限界位置まで補給してください。入れすぎると燃料が燃料タンクキャップからにじみ出ることがあり危険です。
4. 燃料はこぼさないように補給してください。万一こぼれたときは、布などで完全に拭き取り、火災、環境に注意し、処分してください。
5. エンジンが熱い間は、点検・整備等は絶対にしないでください。火傷をするおそれがあります。
6. 点検・整備が終わりましたら、外したカバー類は必ず元の場所へ取り付けてください。

燃料の点検

<点検>

タンク上部の燃料計を見て残量を確認します。
少ないときは補給してください。



<補給>

1. 燃料給油キャップを外し、給油限界位置まで補給します。
2. 補給後、燃料給油キャップを確実に閉めてください。

重要

使用燃料 —— 無鉛ガソリン

タンク容量 —— 6.1リットル

エンジンオイルの点検

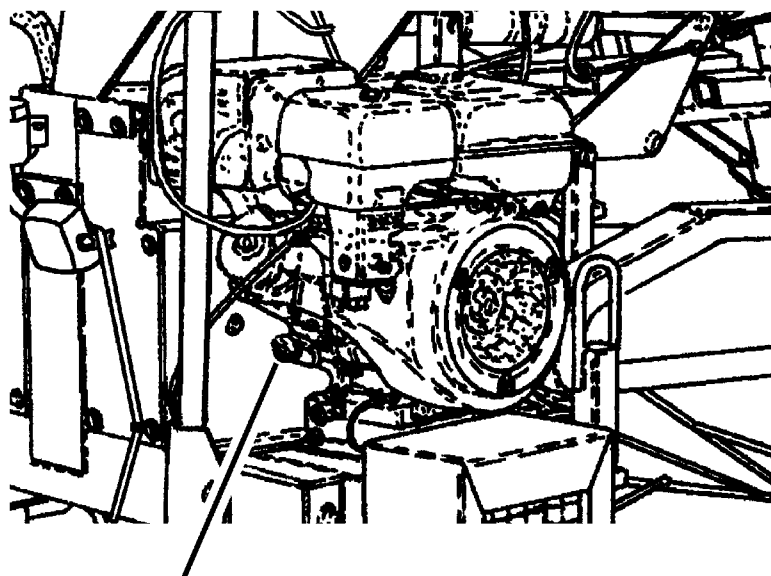
<点検>

エンジンが水平な状態になるようにしてから行ってください。

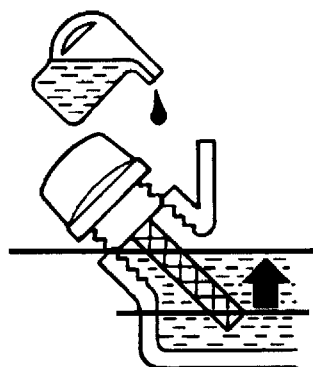
オイル給油キャップを外し、給油口の口元までオイルがあるか点検してください。

少ないときは、新しいオイルを補給してください。

オイルの汚れや変色が著しい場合は交換してください。(P.45参照)



オイル給油キャップ



<補給>

1. オイル給油キャップを外し、新しいオイルを給油口の口元まで補給します。
2. 補給後、オイル給油キャップを確実に閉めてください。

重要

使用オイル―― 4サイクルガソリンエンジンオイル
SAE 10W-30 SE級以上

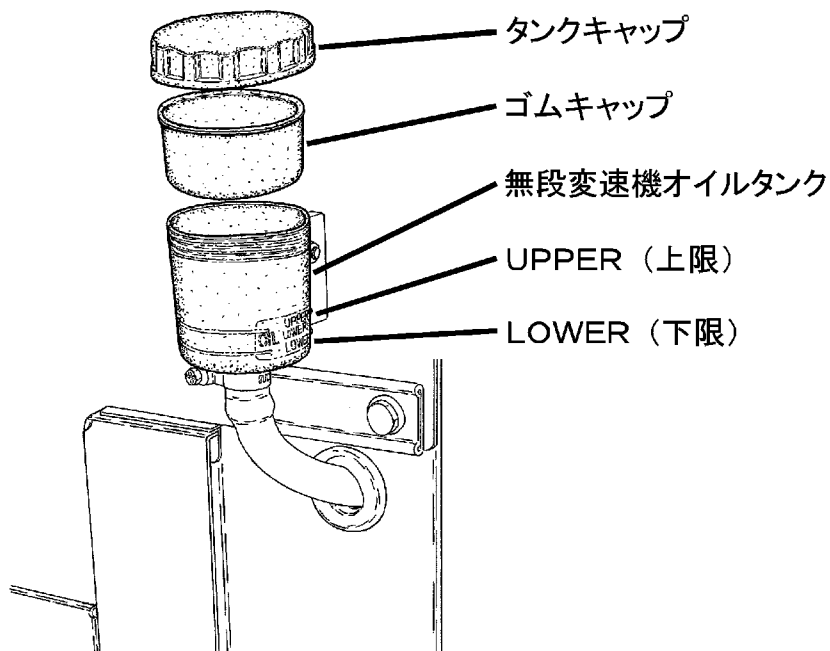
オイル容量―― 1.1リットル

無段変速機オイルの点検

<点検>

無段変速機オイルの点検は、豆刈機が冷えているときに行ってください。

無段変速機オイルの液面がオイルタンクのUPPER（上限）とLOWER（下限）の間にあるか確認します。



<補給>

1. タンクキャップと内側のゴムキャップを外し、新しい無段変速機オイルをUPPER（上限）まで補給します。
2. 補給後、ゴムキャップとタンクキャップを確実に取り付けます。

重要

- ・使用オイル ----- 4サイクルガソリンエンジンオイル
SAE 10W-30 SE級以上
- ・補給時にはタンクの中にゴミなどの異物が入らないように、十分注意してください。異物が混入すると、変速機が故障する原因になります。

バッテリーの点検

⚠ 警告

■ バッテリー液を「下限 (LOWER)」以下にしない
バッテリー液は「上限」と「下限」の間にあることを確認し、「下限」以下にしないで下さい。

【守らないと】

「下限」以下になると、容器内の極板接続部がバッテリー液から露出し、エンジン始動時に火花がでて、容器内のガスに引火して破裂する恐れがあります。

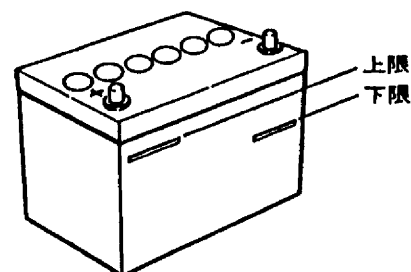


バッテリー液の点検・補給のしかた

各槽のバッテリー液が、上限と下限の間にあることを確認してください。不足しているときは蒸留水を補給してください。

取扱いの注意

- ・ バッテリー液は常に規定量を保ってください。
- ・ バッテリー端子がゆるんでいる場合は、確実に締付けてください。



環境保全と資源リサイクルのため、交換した古いバッテリーは、放置したり、捨てたりせず、新しいバッテリーを購入した店へ渡してください。資源としてリサイクルされます。

重要

指定バッテリー

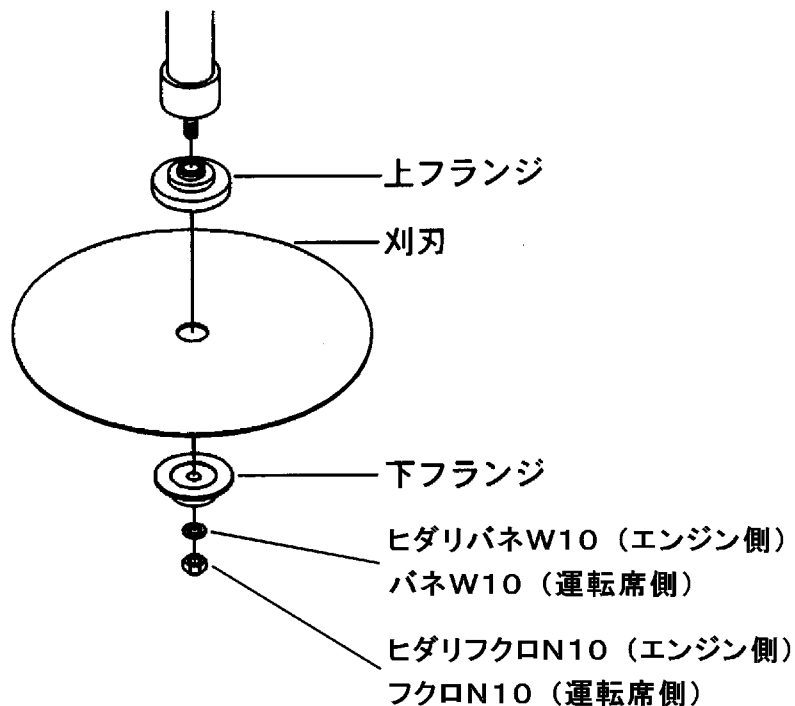
品番 ----- 8 1 1 0 0 - G 2 3 - 0 0 0

品名 ----- バッテリー-4 0 B 1 9 R

刈刃の点検

<点検>

- ・ フクロN10にゆるみ、脱落、摩耗がないか点検します。
 - ゆるんでいる場合 締付けてください。
 - 脱落している場合 交換し、締付けてください。
 - 摩耗している場合 交換し、締付けてください。
- ・ 刈刃のチップに摩耗、欠損がないか点検します。
 - 摩耗、欠損があった場合には刈刃を交換してください。（50ページを参照）



⚠ 警告

- ・ 刈刃を交換するときは本機付属品の刈刃カバーを刈刃に取り付け厚手の手袋を装着して行ってください。
- ・ 刈刃に直接触らないで下さい。

重要

刈刃のチップが欠損したまま使用すると、本機に異常な振動が起こり機体に損傷をあたえるおそれがありますので、速やかに交換してください。

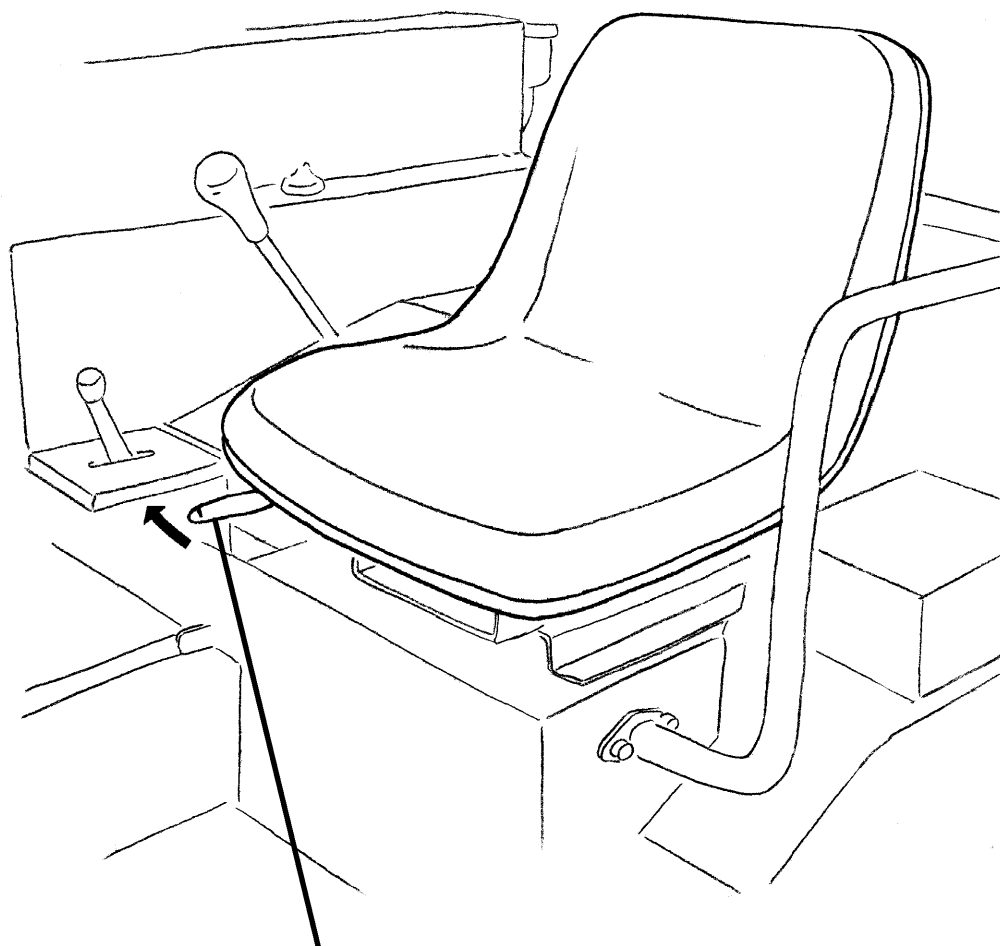
運転席の調節

適正な作業姿勢が得られるように、運転席の位置を調節してください。

運転席位置は、前後方向に調節することができます。

<調節のしかた>

運転席位置調節レバーを右に操作した状態で、運転席を前後に動かして好みの位置に調節してください。



運転席位置
調節レバー

輪距の調節

ほ場のうね幅に合わせて輪距（後輪幅）を組替調節することができます。調節はお買上げいただいた販売店にご依頼ください。

<うね幅に合った輪距>

60 cm (2尺) ----- 輪距 1, 240 mm

66 cm (2尺2寸) ----- 輪距 1, 320 mm

ほ場の条件

ほ場の条件が本機に適していないと、刈取作業に支障をきたすことがあります。
以下の条件をよくご理解いただき、適切な条件を整えてください。

●うね形状

- ・うね間隔 60cm(2尺)～66cm(2尺2寸)
- ・うね高さ 0～20cm

●刈取る豆の条件

- ・品種 小豆・大豆・金時・手忙など
- ・豆の高さ 30～100cm
- ・豆の状態 乾燥していること

●その他

- ・地面・うねの凸凹が少ないこと
- ・石などが少ないこと
- ・雑草が少ないこと

その他の点検

次の点検も忘れずに行ってください。

1. 各部の締付け、ゆるみ、ガタ。
2. タイヤの空気圧(P.48参照)、損傷、取り付けボルト・ナットのゆるみガタ。
3. 各部の作動状態。
4. 前回作業時の異常個所。(異音、異常振動、異臭など)

5. エンジンの始動・停止のしかた

⚠ 警告

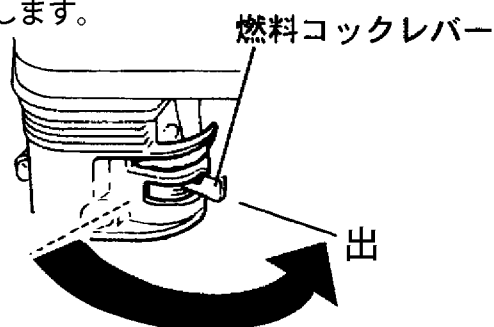
1. エンジンを始動する前に作業前の点検を行ってください。
2. エンジン始動時は、レバー位置と周囲の安全を確認してください。
3. 閉めきった室内ではエンジンを始動しないでください。ガス中毒を起こす危険があります。十分な換気を行うか、風通しのよい屋外で始動してください。

⚠ 注意

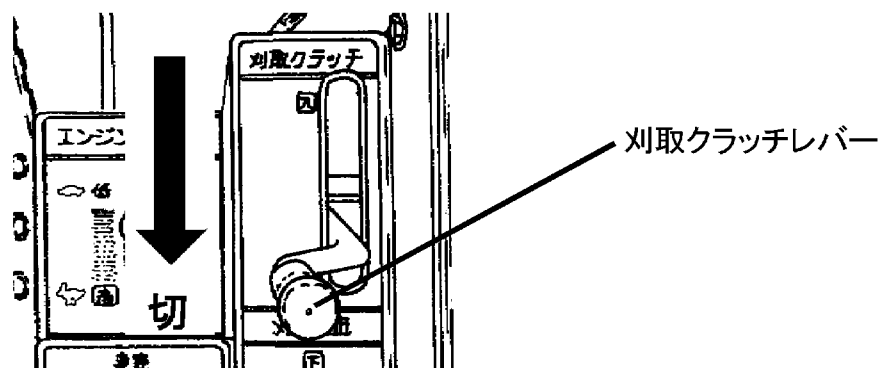
1. エンジンの始動は豆刈機が安定する平坦な場所で行ってください。
2. エンジンを始動するときは、後方に人や物がないか確認してください。

エンジンの始動のしかた

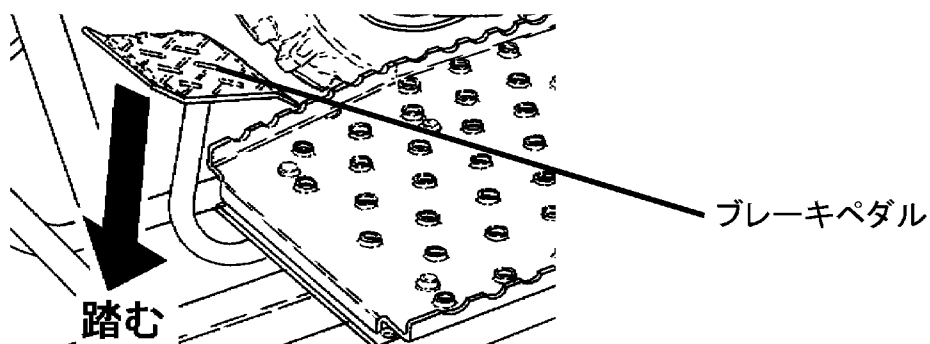
1. 燃料コックを「出」位置にします。



2. 運転席に座り、刈取クラッチレバーを「切」位置にします。

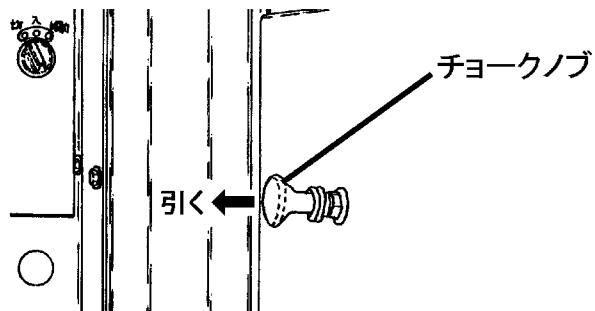


3. ブレーキペダルを踏み込みます。

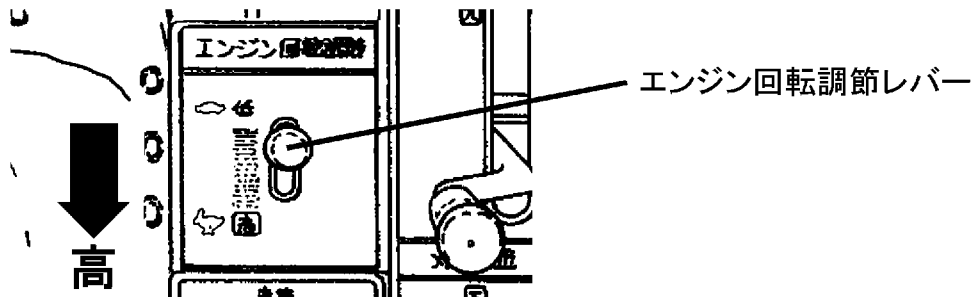


5. エンジンの始動・停止のしかた

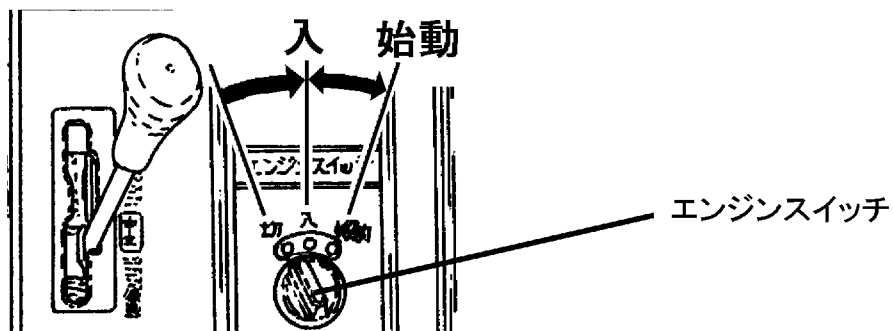
4. 寒いときや、エンジンがかかりにくいときはチョークを引きます。



5. エンジン回転調節レバーを「高」側の方へ少しうごかします。

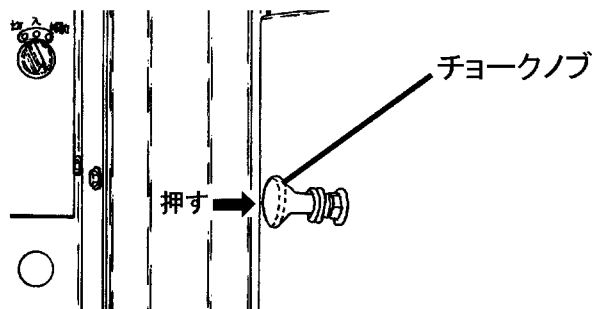


6. エンジンスイッチを「始動」位置まで回し、セルモーターを回します。エンジンが始動したらスイッチから手をはなしてください。「入」位置へ戻ります。



セルモーターを回して5秒以内でエンジンが始動しないときは、10秒ほど間をおいてから、再び始動操作をしてください。

7. 始動後エンジン回転が安定するのを確認しながらチョークを徐々に押し戻し、2～3分間暖機運転を行ってください。



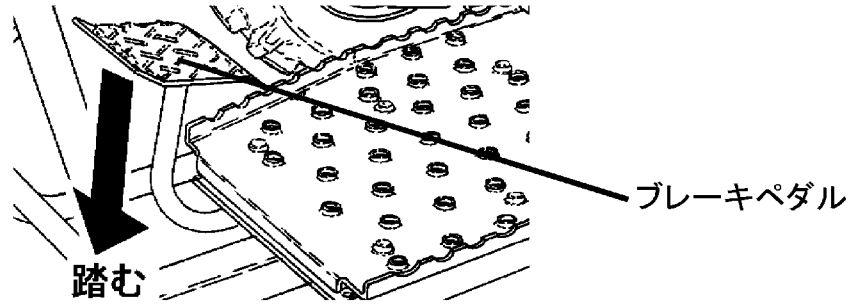
重要

エンジン始動後はすぐに負荷をかけず、必ず暖機運転を行ってください。

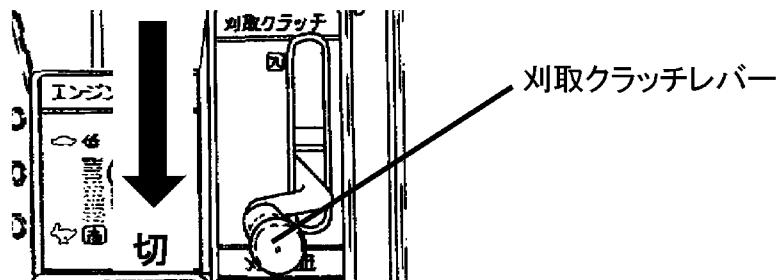
5. エンジンの始動・停止のしかた

エンジンの停止のしかた

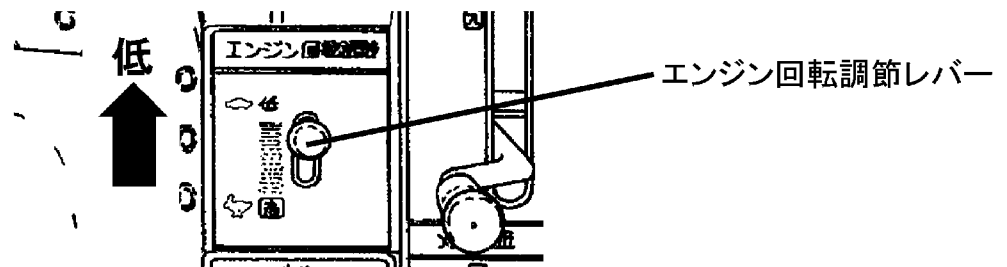
1. ブレーキペダルを踏みます。



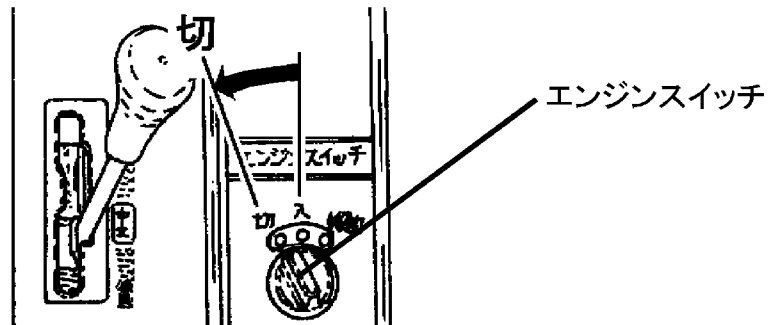
2. 刈取クラッチレバーを「切」位置にします。



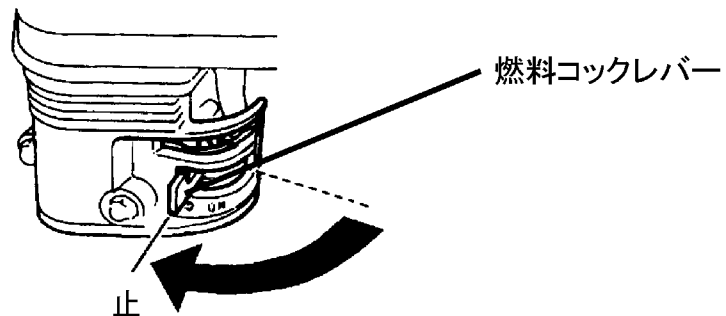
3. エンジン回転調節レバーを「低」位置にします。



4. エンジンスイッチを「切」位置にし、エンジンを停止します。



5. 燃料コックを「止」位置にします。



⚠ 注意

エンジンの停止は豆刈機が安定する平坦な場所で行ってください。

6. 作業・操作のしかた

各レバー操作方法については「3. 操作レバー関係の取扱い要領」を参照してください。

1. 発進のしかた

⚠ 危険

・移動時は必ず刈取クラッチレバーを「切」位置にしてください。

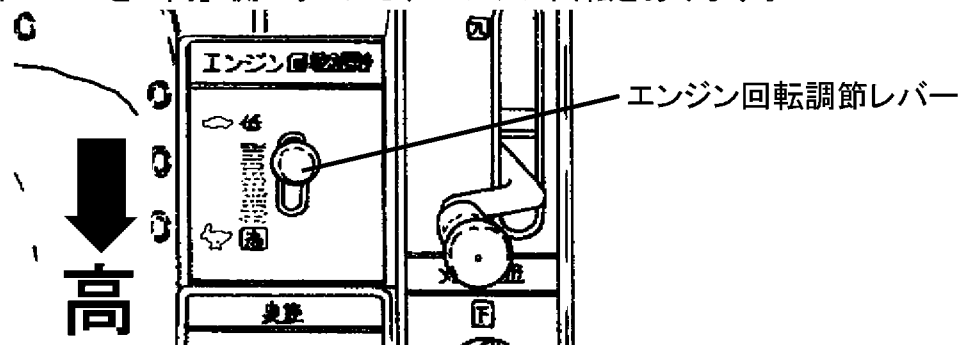
⚠ 警告

・発進時は周囲の安全を確かめて発進してください。

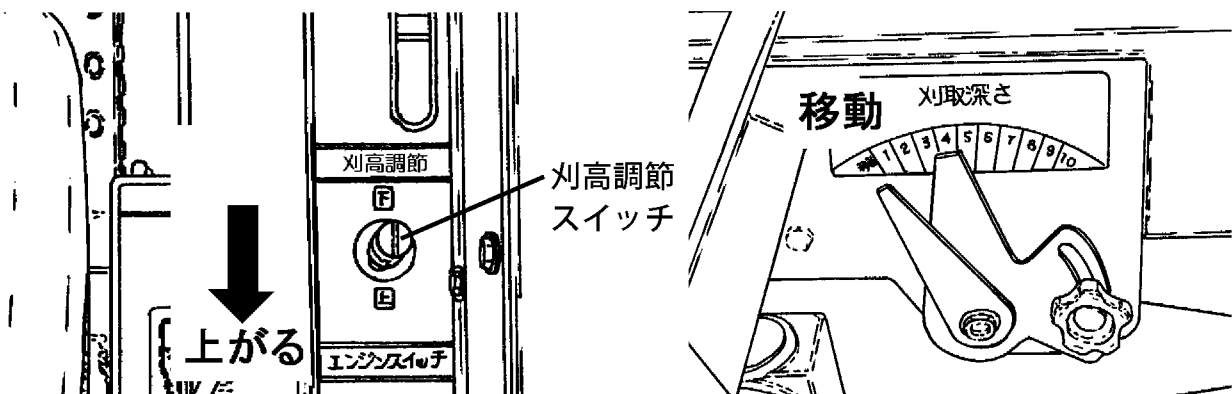
1. エンジンを始動します。

「5. エンジンの始動・停止のしかた」(P. 35～P. 37)を参照してください。

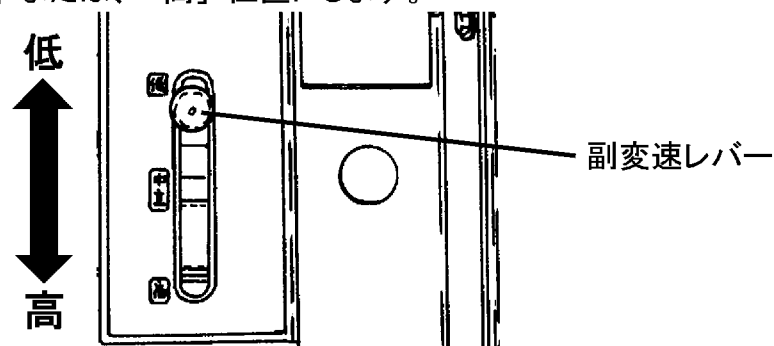
2. エンジン回転調節レバーを「高」側にうごかし、エンジン回転をあげます。



3. 刈高調節スイッチを「上」位置にし刈取部を「移動」位置にします。

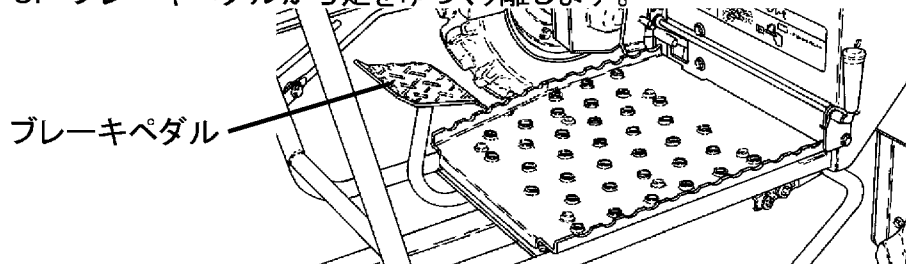


4. 副変速レバーを「低」または、「高」位置にします。

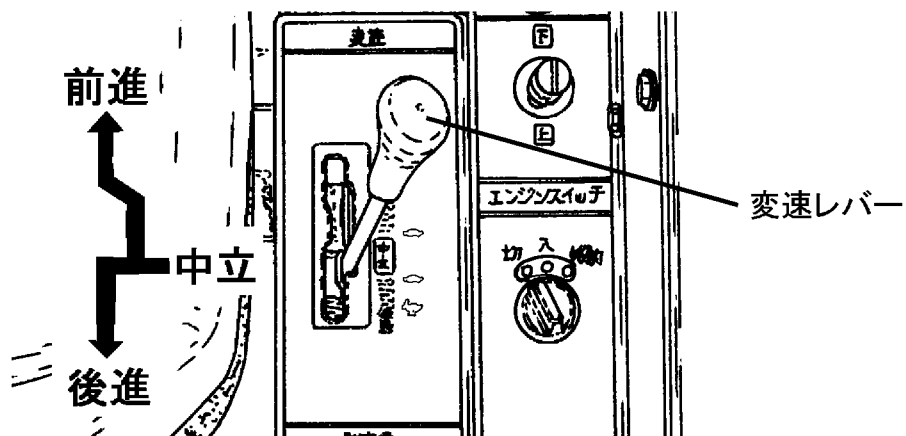


6. 作業・操作のしかた

5. ブレーキペダルから足をゆっくり離します。

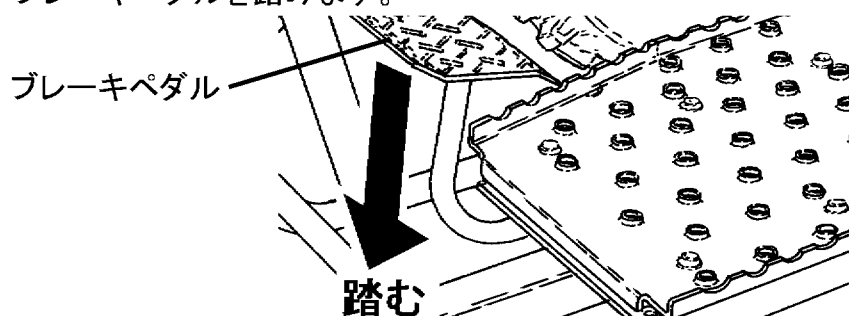


6. 変速レバーを任意の位置までゆっくりと動かします。

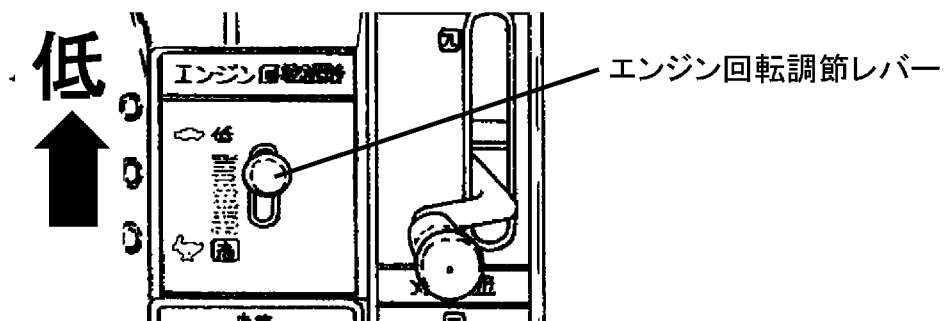


2. 停止のしかた

1. ブレーキペダルを踏みます。



2. エンジン回転調節レバーを「低」側に戻してエンジン回転を下げます。



3. エンジンを停止します。

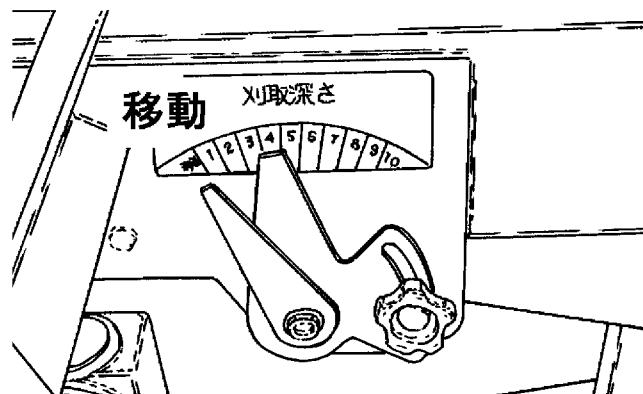
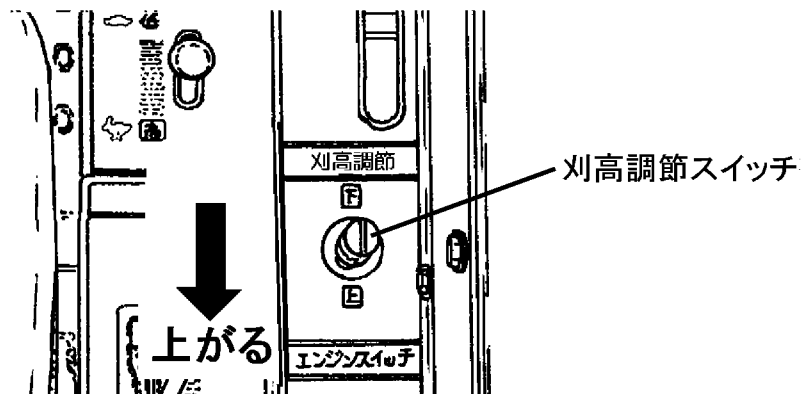
「5. エンジンの始動・停止のしかた」(P. 35～P. 37)を参照してください。

4. 本機から離れる場合は駐車ブレーキをかけてください。

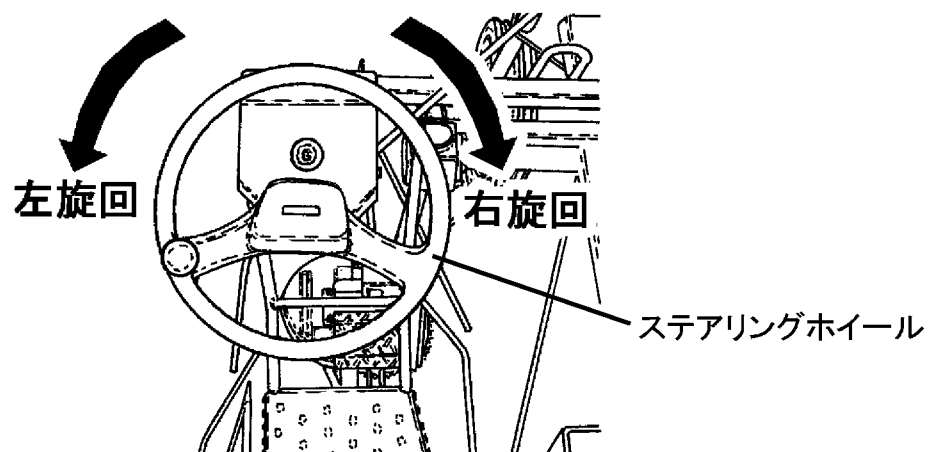
「3. 操作レバー関係の取扱い要領」(P. 22～P. 27)を参照してください。

3. 旋回のしかた

1. 刈高調節スイッチを「上」位置にし刈取部を「移動」位置にします。



2. ステアリングホイールを旋回したい方へ回します。



⚠ 注意

旋回時は、刈取部を「移動」位置まで上げてください。下げた状態で旋回すると本機を破損するおそれがあります。

4. 傾斜地での作業

- 1) 傾斜地ではなるべく作業しないで下さい。やむを得ず作業を行う場合は、車速・車体のバランスに十分注意してゆっくりと行ってください。
- 2) 登りの傾斜地で発進するときは、副変速レバーを「低」側にし、変速レバーをゆっくり倒し発進してください。急発進すると車体前部がはね上がり大変危険です。
- 3) 傾斜地では駐車しないで下さい。

5. 刈取り作業のしかた

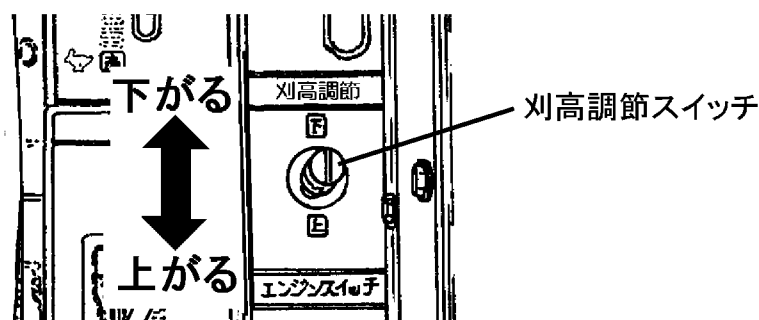
⚠ 危険

- ・詰まった草や異物を取り除くときは必ずエンジンを停止させ、各部の動作が完全に止まってから行ってください。機械に巻き込まれてケガをするおそれがあります。
- ・詰まった草や異物を取り除くときは革手袋などの丈夫な手袋を着用してください。

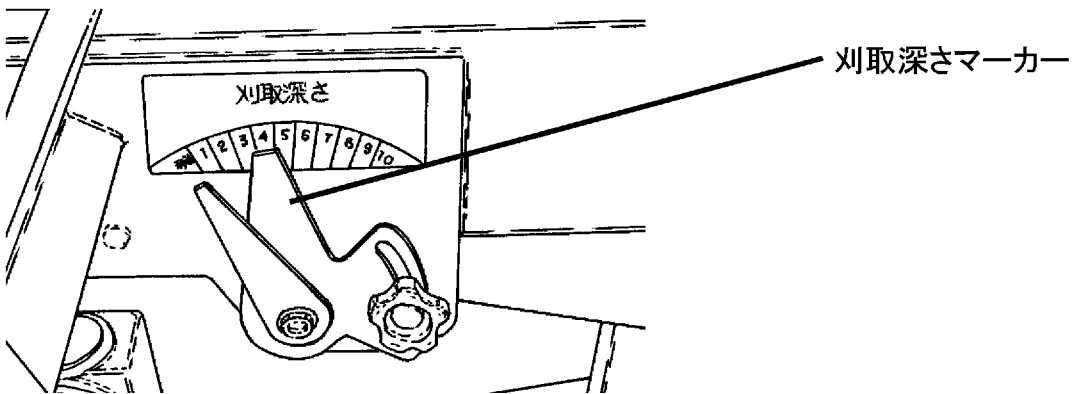
⚠ 注意

- ・作業中は人や、動物を近づけないでください。特に子供には注意してください。

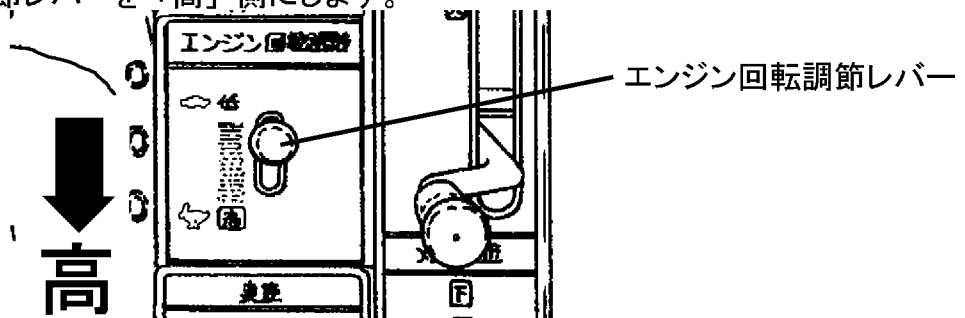
- 刈取り作業はエンジン回転を落とさずに行うことが重要です。豆の種類や豆のたけ、ほ場条件に適した刈りかたをしてください。
 - たけの高い豆、密集している豆、濡れている豆を刈取る場合、刈取部にかかる負荷でエンジン回転が低下することがあります。その場合には以下のようにしてください。
 - ・副変速レバーを「低」位置にする
 - ・刈取り高さを高くする
 - 地盤の凹凸がはげしい場所や石などが地面にある場合は、刈取り高さを高くして石かみの少ない状態で作業してください。
 - 本機の適応うね形状
 - ・うね間隔 60cm(2尺)～66cm(2尺2寸)
 - ・うね高さ 0～20cm
- 1) 刈取る畝に、豆刈機を移動して合わせます。
 - 2) 刈高調節スイッチで刈取高さを調節します。



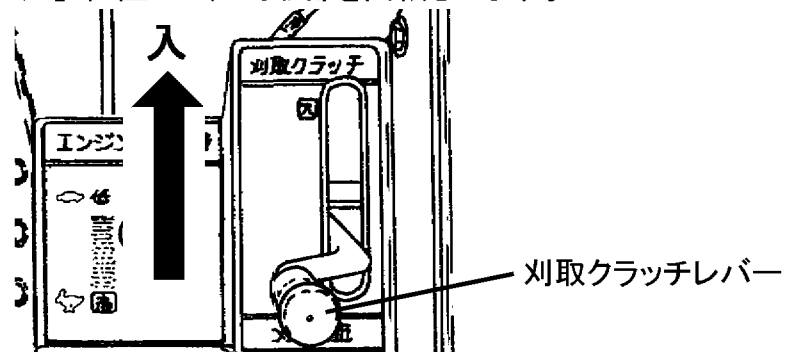
3) 刈取深さマーカを合わせておく次の畝に入るときを目安になります。



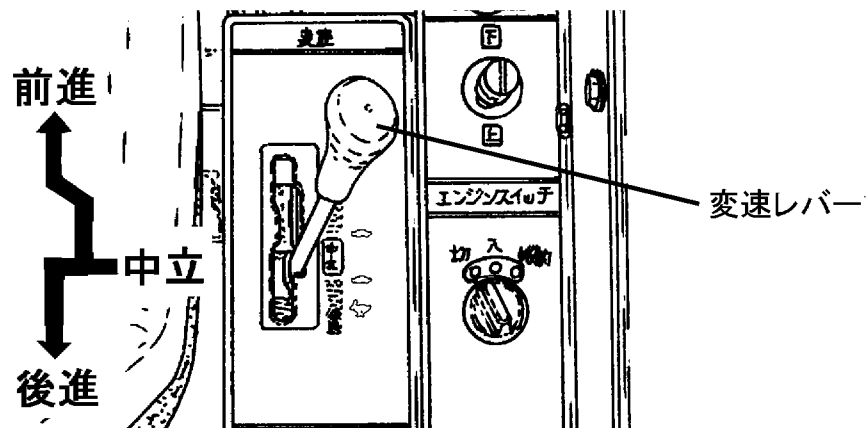
4) エンジン回転調節レバーを「高」側にします。



5) 刈取クラッチレバーを「入」位置にし、刈取部を回転させます。



6) 変速レバーで走行速度を調節します。作物やほ場の条件に合わせて走行速度を調節してください。



7) 畝の最後に達したならば、旋回し次に刈取する畝に移動します。旋回する場所がない場合は、あらかじめマクラ地 (約3m) 刈りをしてください。

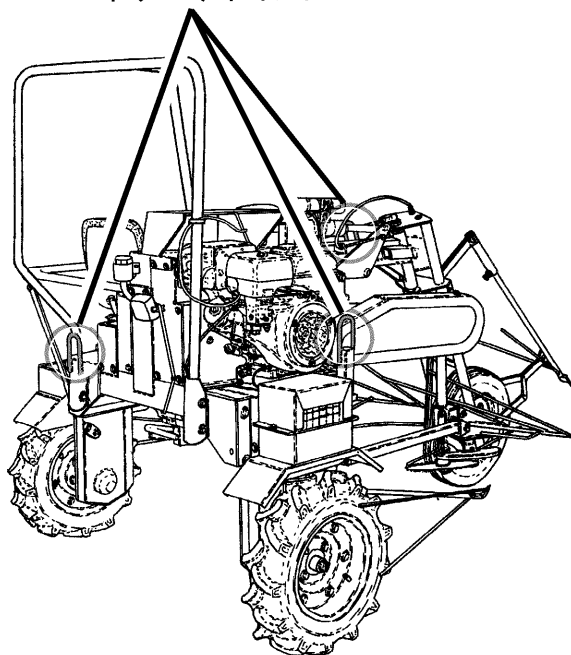
6. 輸送のしかた

▲ 注意

- ・トラックへの積み込み・積み降ろしにはクレーンを使用してください。
- ・クレーンを使用する際は、クレーンの取扱説明書に従ってください。
- ・トラックへの自走での積み込み、積み降ろしはしないでください。
- ・積み込み、積み降ろしは必ずトラックの駐車ブレーキをかけてから行ってください。
- ・十分な強度のあるワイヤー・吊り金具を使用してください。

- 1) エンジンスイッチを「切」位置にします。
- 2) 3点の吊り上げポイントを使用し、本機が水平状態のまま吊り上げられることを確認し、トラックへクレーンで積み込みます。
- 3) 積み込みましたら、強度の十分あるロープ等でトラックに本機を確実に固定してください。

吊り上げポイント



重要

- 必要なクレーンの容量 ----- 500kg以上
- 吊上げ作業時の注意 ----- 堅く、平坦な地面で行うこと。
本機の下に入らないこと。
クレーンの取扱説明書に従うこと。

7. 定期点検

定期点検

この取扱説明書に記載されている、お客様ご自身で行っていただける点検・整備項目の他に、お買い上げいただいた販売店で定期的に実施していただく項目があります。

お買い上げいただいた豆刈機を調子よく、長持ちさせるために定期点検を受けましょう。

警告

- ・点検、整備を行うときは、必ず平坦なところでエンジンを停止してから行ってください。
- ・燃料補給時は火気厳禁です。燃料補給後は燃料給油キャップを確実に閉め、燃料タンクや燃料パイプ等からの燃料もれがないか点検してください。守らないと火災事故の原因になります。
- ・エンジンの熱い間は、点検、整備等は絶対にしないで下さい。ヤケドをするおそれがあります。
- ・点検、整備、清掃などで取り外したカバー類は、必ず元の位置に取り付けてください。

●定期点検・整備項目

項目	毎日 (作業前) P.28 参照	50 時間	100 時間 または豆刈時期 のはじめ	備考	参照ページ
締付けの点検	○				
エンジンオイルの点検	○				29
エンジンオイルの交換	初回 20 時間		○		45
エアクリーナーの清掃	○	○			46
燃料ろ過カップの清掃			○		47
点火プラグの清掃			○		47
無段変速機オイルの点検	○			オイル交換不要	30
走行ミッションオイルの交換		初回 50 時間	○		49
刈取部ギアケースグリスの補給		○			48
刈刃の点検	○				32、50
走行ベルト			○		
刈取1 次ベルト			○		
刈取2 次ベルト			○		
刈取クラッチワイヤー			○		
デフロックワイヤー			○		
スロットルワイヤー			○		
チョークワイヤー			○		
燃料チューブ			○	2 年毎に交換	
バッテリー	○				31、51
ローラーチェーンの注油		初回 50 時間	○		48
タイヤの空気圧		初回 50 時間	○		48

重要

- ・交換後のエンジンオイル、ミッションオイル等はゴミの中や地面、排水溝などに捨てないで下さい。処理方法は法令で義務付けられています。法令に従い適正に処理してください。不明な場合はオイルをお買い上げになったお店にご相談の上、処理してください。
- ・交換後のバッテリーも、法令にしたがい適正に処理してください。

※廃棄物処理法、水質汚濁防止法

1. エンジンオイルの交換

エンジンオイルが汚れていると、エンジンの寿命を著しく縮めます。交換時期、オイル量を守りましょう。

＜交換時期＞

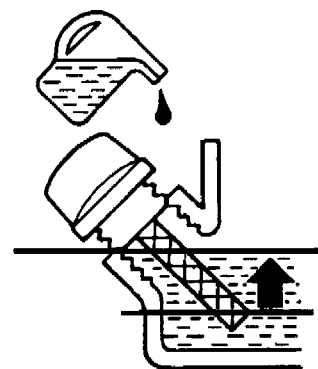
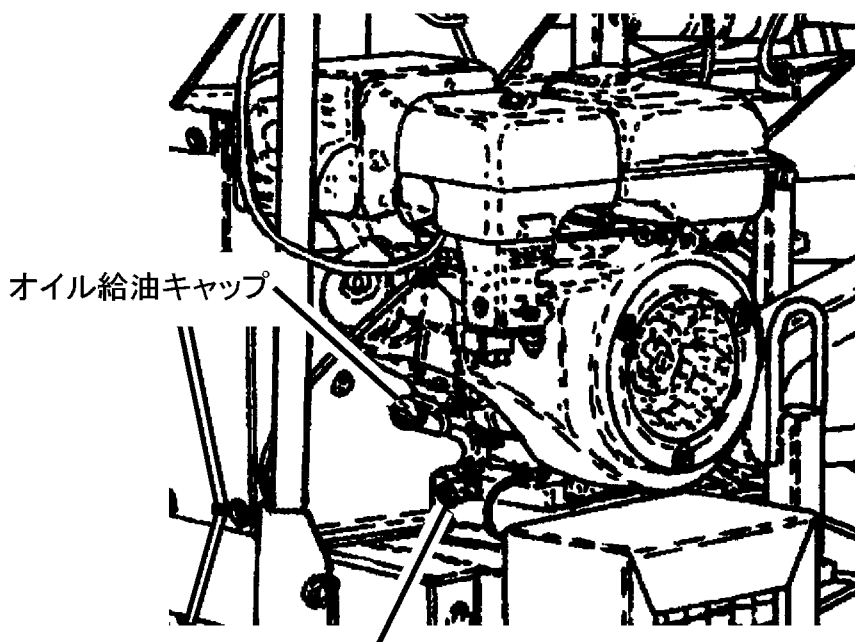
初回20時間使用后、以後年1回夏刈時期のはじめ。

＜推奨オイル・容量＞

4サイクルガソリンエンジンオイル SAE 10W-30 SE級以上・1.1リットル

＜交換のしかた＞

- 1) オイル給油キャップを外します。
- 2) オイルドレン延長パイプを工具でおさえ、オールドレンボルトを外してオイルを抜きます。
- 3) オールドレンボルトをきれいに洗い、シーリングワッシャーを新しいものに交換し、オールドレンボルトを確実に締付けてください。シーリングワッシャーは下記の品番・品名です。
 - ・品番 91691-0816202
 - ・品名 丸パッキン8×16×2
- 4) 新しいオイルを口元まで給油します。
- 5) 給油後オイル給油キャップを確実に締付ます。



オールドレンボルト・シーリングワッシャー・オールドレン延長パイプ

▲ 注意

- ・エンジン停止直後は、エンジン本体、エンジンオイルの温度が高くなっています。エンジンが冷めてからオイル交換を行ってください。ヤケドをするおそれがあります。
- ・オイルは使用しなくても自然に劣化します。定期的に点検・交換を行ってください。
- ・オイル給油キャップ、オールドレンボルトは確実に締付けてください。締付けがゆるいとオイルがにじみでることがあります。

2. エアクリーナーの清掃

エアクリーナーが詰まっていると、エンジンの性能が発揮されません。清掃時期を守りましょう。

⚠ 警告

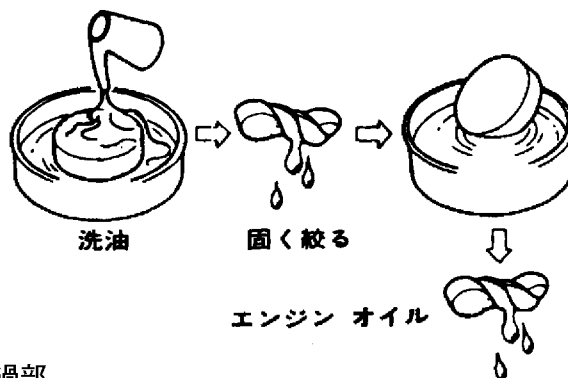
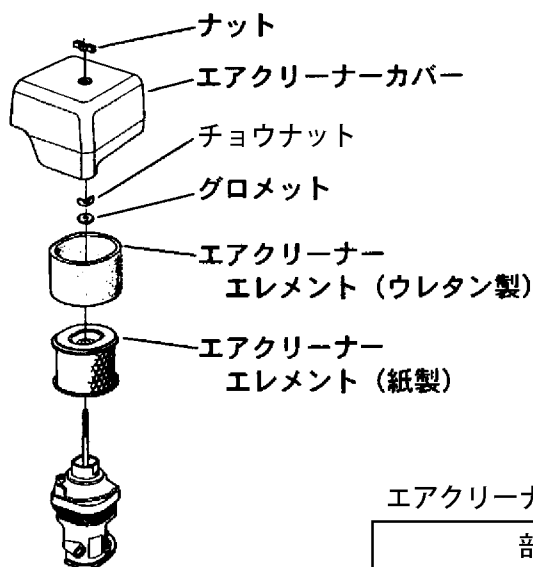
- ・洗油は引火しやすいので、タバコを吸ったり、炎などの火気を近づけないでください。火災を起こす可能性があります。
- ・清掃は換気の良い場所で行ってください。

<清掃時期>

50時間使用毎、またはホコリの多い場所で使用するときには1日1回。

<清掃のしかた>

- 1) ナット・エアクリーナーカバー・チョウナットを外す。
- 2) ウレタン製と紙製のエレメントを取り外します。
- 3) ウレタン製のエレメントは洗油で洗い、圧縮空気を吹き付けるか、よく絞って乾かし、エンジンオイルに浸した後、固く絞ってから取り付ける。
- 4) 紙製エレメントは内側から圧縮空気を吹き付けるか、軽く叩いて汚れを落とす。汚れがひどい場合は交換する。
- 5) ウレタン製と紙製のエレメントを取り付ける。
- 6) ナット・エアクリーナーカバー・チョウナットを取り付ける。



エアクリーナーろ過部

部品番号	部品名	備考
17210-ZE3-010	エレメント	紙+ウレタン セット
17218-ZE3-000	フィルター	ウレタンのみ

重要

- ・エアクリーナーを外した状態でエンジンを運転しないでください。エンジンが早く摩耗する原因になります。
- ・ウレタン製エレメントにオイルを付け過ぎると目詰まりの原因になります。

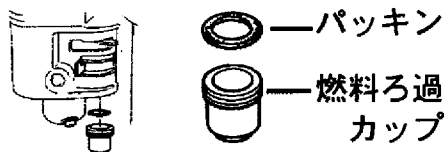
3. 燃料ろ過カップの清掃

<清掃時期>

100時間使用毎。

<清掃のしかた>

- 1) 燃料コックレバーを「止」位置にします。(P. 37参照)
- 2) 燃料ろ過カップを取り外します。
- 3) 燃料ろ過カップ、パッキンを洗油で清掃し、底にたまったゴミ・水を取り除きます。
- 4) 清掃後、燃料漏れのないようパッキンを入れ燃料ろ過カップを確実に締付けてください。



⚠ 警告

ガソリンは非常に引火しやすく、また気化したガソリンは爆発して死傷事故を引き起こすことがあります。

- ・換気の良い場所で行ってください。
- ・火気を近づけないでください。
- ・ガソリンをこぼさないようにしてください。万一こぼれたときは、布きれなどで完全にふき取り火災と環境に注意して処分してください。

4. 点火プラグの清掃

<清掃時期>

100時間使用毎。

<清掃のしかた>

本機付属のプラグレンチで点火プラグを取り外し、ワイヤブラシ等で清掃してください。

<調整>

外側電極をつめ、プラグすきまを下記寸法に調整します。

<指定プラグ>

NGK製	BPR6ES
ND製	W20EPR-U
プラグすきま	0.7~0.8 mm



⚠ 注意

- ・指定以外の点火プラグを使用しないで下さい。
- ・エンジン停止直後はエンジン本体、点火プラグの温度が高いため、エンジンが冷めてから点火プラグを外してください。ヤケドをするおそれがあります。
- ・プラグの取り付けは、ネジ山をこわさないように、まず指で軽くねじ込み、次にプラグレンチで確実に締付けてください。

5. 刈取部ギアケース内のグリスの補給

<補給時期>

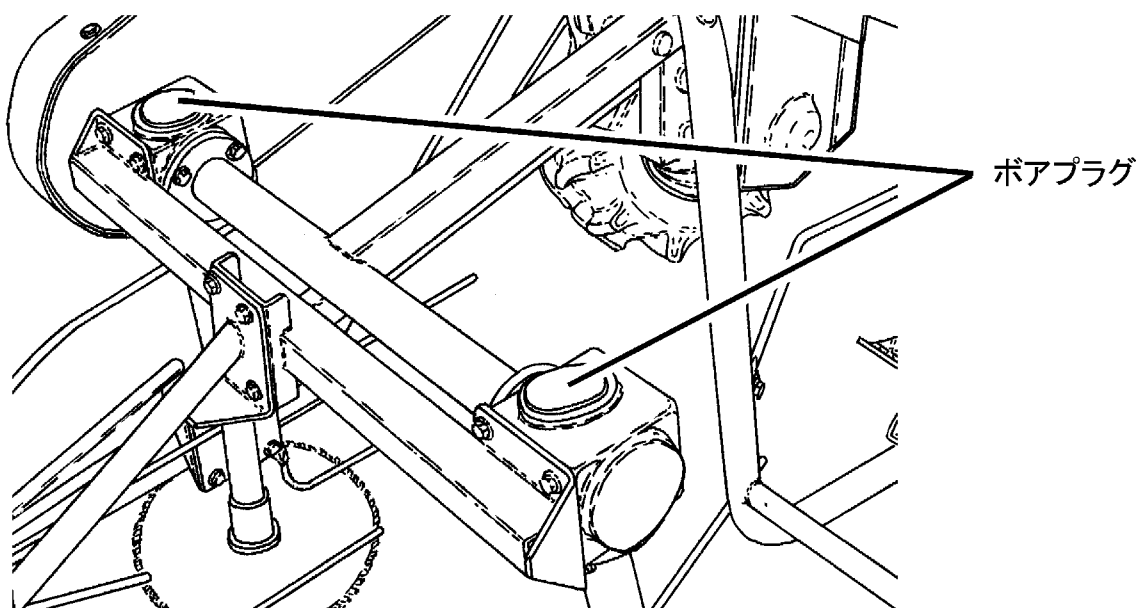
50時間使用毎。

<推奨グリス>

シェル アルバニヤ EP グリース 1

<補給のしかた>

- 1) 本機を水平状態にし、ボアプラグを外します。
- 2) 横軸の中心までグリスを補給します。
- 3) ボアプラグをしっかりと取り付けてください。



6. ローラーチェーンの注油

<注油時期>

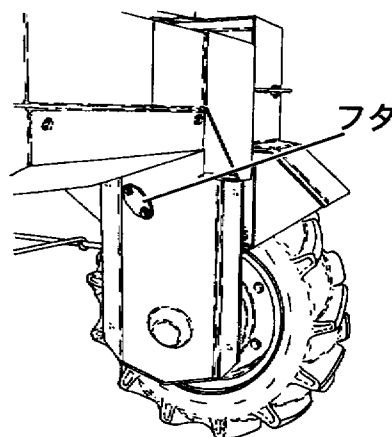
50時間運転毎、以後年1回刈取時期のはじめ。

<推奨オイル>

シェル テラスオイル C100 または 同等品

<注油のしかた>

- 1) チェーンケースのフタを外します。
- 2) ローラーチェーンへ適量注油します。
- 3) フタをしっかりと締付けます。



7. 各タイヤの空気圧

<点検時期>

50時間運転毎、以後年1回刈取時期のはじめ。

<空気圧>

前輪 ----- 280kPa

後輪 ----- 180kPa

8. 走行ミッションオイルの交換

<交換時期>

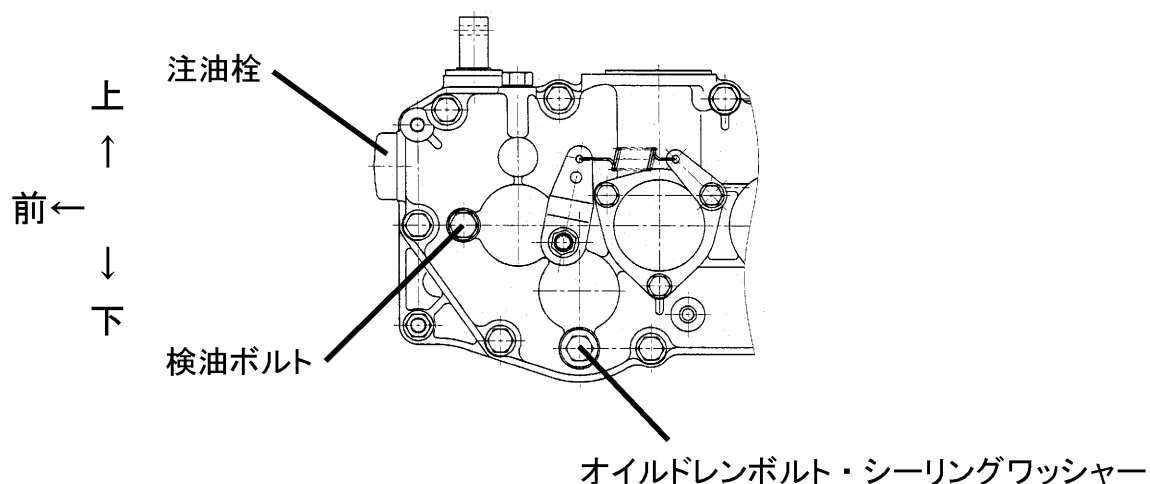
初回50時間運転後、以後年1回豆刈時期のはじめ。

<推奨オイル・容量>

ギアオイル SAE #90 2.0リットル

<交換のしかた>

- 1) 注油栓、オールドレンボルトを外してオイルを抜きます。
- 2) オールドレンボルトをきれいに洗い、シーリングワッシャーを新しいものに交換して確実に締め付けてください。シーリングワッシャーは下記の品番・品名です。
 - ・品番 2105-414807
 - ・品名 ガスケット14
- 3) 検油ボルトを外し、注油栓を外した穴から新しいオイルを注入し、検油ボルトを外した穴からオイルが出てくるのを確認します。
(市販のオイルバケツポンプを使用すると、スムーズに注入できます)
- 4) オイル注入後、検油ボルトを確実に締め付け、注油栓を取り付けます。



9. 刈刃の交換

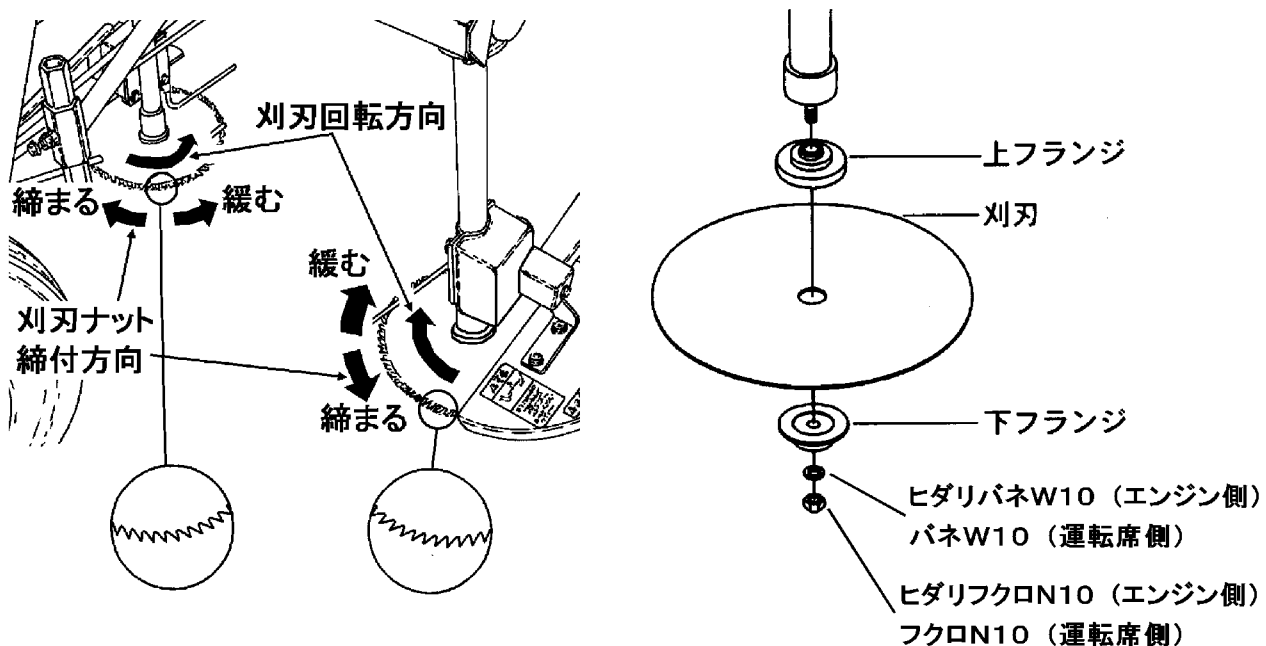
刈刃が摩耗やチップが欠損したまま使用しないでください。刈残しや異常な振動の原因になります。

⚠ 警告

- ・刈刃を交換するときは本機付属品の刈刃カバーを刈刃に取り付け、丈夫な革手袋を装着して行ってください。
- ・刈刃に直接触らないでください。

<交換のしかた>

- 1) 本機付属の刈刃カバーを刈刃に取り付ける。
- 2) 丈夫な革手袋をした手で、刈刃を回らないように押え、刈刃締付けナットを緩み側に回し刈刃を外す。(エンジン側はヒダリネジのため、注意してください)
- 3) 新しい刈刃の中央の穴を上フランジの凸部に合わせる
- 4) 下フランジ、バネW10、フクロN10を組み付ける。
- 5) 刈刃が回らないように押え、刈刃締付けナットを締め側に回し、確実に締付ける。



部品番号	品名	備考
35902-G14-004	カッター12インチ	12インチ仕様(305mm)
35903-G23-001	カッター14インチ	14インチ仕様(355mm)
91232-10413	ヒダリフクロN 10	エンジン側の刈刃用
91254-10012	ヒダリバネW 10	
94021-10413	フクロN 10	運転席側の刈刃用
94111-10012	バネW 10	

10. バッテリ

バッテリーを交換するときは、かならず指定したバッテリーを使用してください。

<指定バッテリー>

品番 ----- 81100-G23-000

品名 ----- バッテリー40B19R

11. ヒューズ

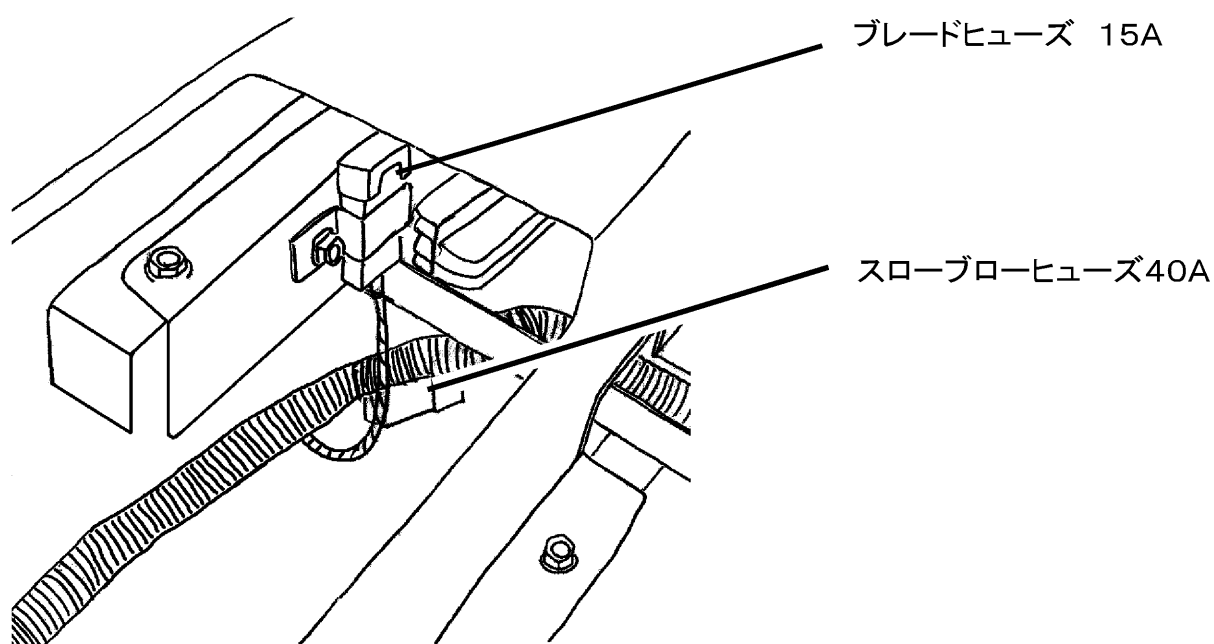
<点検時期>

刈取部が上下しなかったり、エンジンが始動しないなどの電気系統に異常があるときに点検してください。

<点検・交換のしかた>

防音カバーを外しヒューズケース内のヒューズが切れていないか点検します。

切れている場合は同じ容量のヒューズと交換してください。



8. 長期間使用しないときの手入れ

豆刈時期が終わり長期間保管するときは、次の時期も快適にお使いいただくために次のことを必ずお守りください。

1. 保管するときはエンジンスイッチキーを外してください。
2. 刈取クラッチレバーを「切」位置にする。
3. 駐車ブレーキをかける。
4. デバイダーカバーを取り付ける。
5. 刈取を下げて、電動油圧シリンダーを縮めてください。
6. 燃料タンク、キャブレター内の燃料を抜いてください。
7. エンジンのエアークリーナーを清掃してください。
8. 各部を清掃し、各部の締め付け点検をしてください。
9. 回転部・摺動部に注油・グリースアップをしてください。
10. バッテリーを外してください。
11. 欠損部品、摩耗部品は、次期使用にそなえ早めに注文、交換しておくことが大切です。機械の分解は専門的な知識が必要です。必ずお買い上げのサービス店へご依頼ください。
12. 手入れの後はシートをかけておきましょう。シートが濡れていると機械がさびる原因となりますので注意してください。
13. 保管場所は、湿気、ホコリのない風通しのよいところをえらんでください。

重要

・電動油圧シリンダーのロッドには注油しないで下さい。油モレや故障の原因になります。

9. 故障のときは

故障のときは、まずご自身で次の点検を行い、その上でなお異常があるときは、むやみに分解しないでお買上げいただいた販売店へお申し付けください。

故障	点検箇所	処置方法
エンジンが始動しない (スタータが回らない)	始動方法は間違っていないですか	正しい手順で行ってください
	刈取クラッチレバーが「切」位置にありますか	刈取クラッチレバーを「切」位置にしてください
	ブレーキペダルを踏んでいますか	ペダルを踏んでください
エンジンが始動しない (スタータが回る)	燃料が無くなっていませんか	燃料を補給してください
	点火プラグコードが外れていませんか	点火プラグコードを差し込んでください
	燃料コックレバーが「止」位置になっていませんか	燃料コックレバーを「出」位置にしてください
エンジンに力がない	刈取深さが深すぎませんか	刈取部を上げるか走行速度を遅くしてください。
	エアクリーナが汚れていませんか	清掃してください
	エンジンオイルが規定量入っていますか	規定量入れてください
刈刃が回らない	刈取のベルトが切れていませんか	販売店へ連絡し交換してください
	刈取のベルトがすべっていませんか	販売店へ連絡し調整（交換）してください
	刈刃に異物がからまっていますか	エンジンを停止し取り除いてください
	刈刃締付けナットは締まっていますか	刈刃締付けナットを締付けてください
走行しない	駐車ブレーキをかけていませんか	駐車ブレーキを解除してください
	走行のベルトが切れていませんか	販売店へ連絡し交換してください
	走行のベルトがすべっていませんか	販売店へ連絡し調整（交換）してください
	無段変速機オイルが規定量入っていますか	無段変速機オイルを補給してください
	後輪が片側だけ回っていませんか	デフロックペダルを使用してください
刈取部が上下しない	コネクタが外れていませんか	コネクタをつないでください
	ヒューズが切れていませんか	販売店へ連絡し交換してください
	頻繁に操作をしていませんか	しばらく待ち、電動油圧シリンダが冷めるまでお待ちください
作業灯が点灯しない	コネクタが外れていませんか	コネクタをつないでください
	電球が切れていませんか	販売店へ連絡し交換してください
	ヒューズが切れていませんか	販売店へ連絡し交換してください

10. 標準付属品および主要消耗部品

本機には下記の付属品がございます。お買い求めの際お調べください。

部品番号	品名	個数
91901-G23-030	取扱説明書 (WK-21)	1
35908-G23-000	デバイダーカバー	3
35909-G23-000	デバイダーカバーB	2
35914-G19-000	刈刃カバー(12インチ)	2 (12インチ仕様のみ)
35907-G23-000	刈刃カバー(14インチ)	2 (14インチ仕様のみ)
	製品保証書、安全確認カード	1
	ツールバッグ	1
	プラグレンチハンドル	1
	プラグレンチ	1
	スパナ 10X12	1
	スパナ 10X14	1
	スパナ 12X14	1

本機の主要消耗部品

部品番号	品名	備考
35902-G14-004	カッター12インチ	305mm (12インチ仕様)
35903-G23-001	カッター14インチ	355mm (14インチ仕様)
91232-10413	ヒダリフクロN 10	エンジン側の刈刃用
91254-10012	ヒダリバネW 10	
94021-10413	フクロN 10	運転席側の刈刃用
94111-10012	バネW 10	
91651-0512039	オレンジコグベルトRCLB39	エンジン→ミッション
91651-0209042	オレンジベルト LB42	エンジン→カウンター
91651-0209070	オレンジベルト LB70	カウンター→刈取部
91811-115	ブレードヒューズ 15A	
91811-340	スローブローヒューズ 40A	

1 1 . 主要諸元

型式名				WK-21		
項目			単位			
機体寸法	全長		mm	2,970		
	全幅		mm	2,010		
	全高		mm	1,900		
	重量		kg	450		
エンジン	形式		ホンダ GX390			
	総排気量		cm ³	389		
	最大出力		ps/rpm	11.8/3,600 *		
	使用燃料		自動車用無鉛ガソリン			
	燃料タンク容量		リットル	6.1		
走行部	形式		3輪-前1輪操舵-後2輪駆動			
	前輪		5.00-12 4PR			
	後輪		6.00-12 4PR			
	最高速度	前進	高速	km/h	8.0	
			低速	km/h	4.9	
		後進	高速	km/h	4.5	
			低速	km/h	3.0	
	ホイールベース		mm	1,750		
	後輪トレッド	2尺うね		mm	1,240	
		2尺2寸		mm	1,320	
最小回転半径		mm	2,100			
前処理部	形式		デバイダー			
切断部	形式		回転刃 (チップソー)			
	回転刃径		mm	305 (12インチ仕様) 、355 (14インチ仕様)		
	刈取条数		条	2		
	上下方式		電動油圧			
	刈高		mm	30~300		
能率	最大作業能率		a/h	80		

*ここに表示したエンジン出力はSAE J1349に準拠して3,600rpm (最大出力) で測定された代表的なエンジンのネット出力値です。

量産エンジンの出力はこの数値と変わる事があります。完成機に搭載された状態での実出力値はエンジン回転数、使用環境、メンテナンス状態やその他の条件により変化します。

※諸元は製品の改良のため予告なく変更する場合がございます。ご了承ください。

12. 配線図

